

ネオデッキDX 組立施工マニュアル

デラックス

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行なってください。
- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルは施工後必ず施主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれている場合がありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物(給水配管等)に影響を及ぼさないように柱位置決めてください。
- 養生期間は十分(4日~1週間)にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|-----|---|-----|-----------------------|
| | この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 | | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |

注意

- 本商品は、樹脂材料を使用していますので、ビスの締付けには十分注意してください。締付けすぎると部材が割れ、または破損する恐れがあります。
- デッキを大引に固定する皿ビスの頭が必ずデッキ面以下となるように施工してください。また、ビス部分に樹脂のささくれ等が発生した場合、必ずヤスリできれいにしてください。
- ビスがデッキに潜りすぎると割れる恐れがありますので、電動ドライバーのトルクを調整して固定してください。
- デッキ材に工具等固いものを落としたりしないでください。破損する恐れがあります。
- デッキ端部等でケガをしないように、軍手、安全靴を使用してください。
- 施工後は、必要に応じて養生を施してください。
- 保管時は、平坦な場所に平置きしてください。また、長期間保管する場合、風雨にさらされないようにしてください。
- デッキ上のフェンスパネルに乗ったり、揺すったりしないでください。
- デッキ上のフェンスパネルに雨具、洗濯物、布団等を載せないでください。

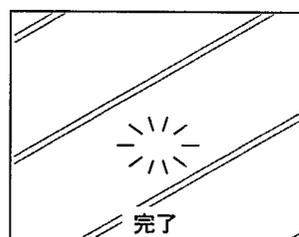
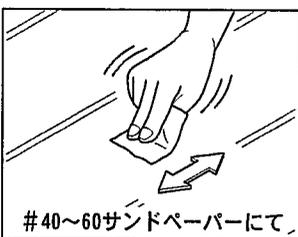
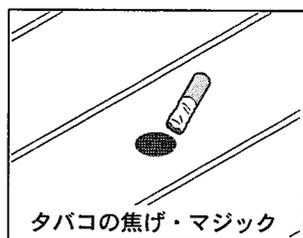
!

使用上のご注意について

- デッキ上のフェンスパネルに鉢等をかける場合は、1枚当たり5kgを越えないようにしてください。
- 夏場の直射日光下では、表面温度が高温になることがありますので、素足で歩かれるときはご注意ください。
- 樹脂は弱酸、弱アルカリ、食塩水、アルコール(水でうすめたもの)には優れた抵抗性をもっていますが、濃酸、濃アルカリ、また、シンナー、ベンジン等の有機溶剤や石油類は使用しないでください。
- 重い物や鋭利な物を引きずったり、落としたりしないでください。キズ、割れの原因となります。
- デッキの近くで殺虫剤、除草剤は使用しないでください。スプレータイプで石油系、フロン系の場合、接触すると変形、割れを生じることがあります。
- 樹脂は、微小火源には着火しにくくなっていますが、火気には十分にご注意ください。また、70℃以上になると変形しますので、近くで焚き火をしたり高温のものを近づけたりしないでください。

樹脂製品のお手入れ方法について

- 洗淨方法：中性洗剤を所定の割合で水で希釈し、布巾などで部材の長手方向に擦るよう拭き、最後に水で洗剤をきれいに洗い流してください。
※月に数回の水洗いと、空ぶきだけでも効果的です。ただし、工業地帯や海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。
- 汚れキズ等の補修：まず、表面の汚れを雑巾などで拭き取ってください。その後、汚れキズ部分をサンドペーパー(＃40~60)を長手方向に擦り、汚れキズを取り除いてください。最後に表面の削り粉を清掃してください。



※1. 油なども同様の方法で落とせます。※2. サンディング方法により表面の木目感が若干異なることがあります。

もくじ

| | | | | | |
|------------------------|----|----------------------------------|----|------------------|----|
| 梱包明細 | 2 | 4. デッキフェンスの取付け | 26 | 7. ステップの施工 | 37 |
| 各部の名称 | 4 | 4-1 ベースプレートの取付け | 26 | 7-1 束柱の切詰め | 37 |
| 納まり図 | 5 | 4-2 デッキフェンス柱の取付け | 26 | 7-2 大引の取付け | 37 |
| 束柱・大引位置図 | 10 | 4-3 下木の取付け | 27 | 7-3 束柱の埋め込み | 37 |
| 施工前の確認 | 16 | 4-4 ラチスパネルの取付け | 27 | 7-4 鼻隠し取付金具の取付け | 38 |
| 1. 束柱・大引・根がらみの設置 | 17 | 4-5 通し笠木の取付け(H:1100タイプ) | 28 | 7-5 段板(デッキ材)の取付け | 38 |
| 1-1 根がらみの切詰め | 17 | 4-6 上木の取付け(H:1800タイプ) | 29 | 7-6 鼻隠しの取付け | 39 |
| 1-2 大引・根がらみの取付け | 17 | 4-7 控え柱の取付け | 30 | 施工工事店様、販売店様へのお願い | 40 |
| 1-3 束柱の設置 | 18 | 4-8 通し笠木キャップ笠木カバーの取付け(H:1100タイプ) | 33 | | |
| 2. 床下補強材の取付け | 20 | 4-9 柱キャップの取付け(H:1800タイプ) | 33 | | |
| 2-1 床下補強材の切詰め | 20 | 5. 鼻隠しの取付け | 34 | | |
| 2-2 床下補強材、床下補強アングルの取付け | 21 | 5-1 鼻隠しの切詰め | 34 | | |
| 3. デッキ材の取付け | 22 | 5-2 鼻隠しの取付け | 34 | | |
| 3-1 鼻隠し取付金具の取付け | 22 | 5-3 鼻隠しコーナーキャップ連結カバーの取付け | 34 | | |
| 3-2 デッキ材の取付け | 23 | 6. 点検口の施工 | 35 | | |
| 3-3 デッキ材の連結 | 25 | 6-1 デッキ材の加工(点検口部分) | 35 | | |
| | | 6-2 点検口蓋の作成 | 35 | | |

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。

●マニュアルに記載している部材・部品(ビス含)以外は使用しないでください。

表内の()は個数を表わしています。

| 梱包名称 | | サイズ | 梱包内容 |
|------|----------------|--------------|---|
| 大引 | 0.5間 | 2本入り | L=910 大引(2) |
| | | 3本入り | L=910 大引(3) |
| | 1.0間 | 2本入り | L=1820 大引(2) |
| | | 3本入り | L=1820 大引(3) |
| | 1.5間 | 2本入り | L=2730 大引(2) |
| | | 3本入り | L=2730 大引(3) |
| 2.0間 | 2本入り | L=3640 大引(2) | |
| | 3本入り | L=3640 大引(3) | |
| 束柱 | 標準束柱 (高さ調整) | 2本入り | 束柱A:L=234 束柱B:L=200 調整束柱(2) 束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(8)・φ5×16セルフドリリングビス(8)] |
| | | 3本入り | 束柱A:L=234 束柱B:L=200 調整束柱(3) 束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(12)・φ5×16セルフドリリングビス(12)] |
| | 長束柱 (高さ調整) | 2本入り | 束柱A:L=434 束柱B:L=200 調整束柱(2) 束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(8)・φ5×16セルフドリリングビス(8)] |
| | | 3本入り | 束柱A:L=434 束柱B:L=200 調整束柱(3) 束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(12)・φ5×16セルフドリリングビス(12)] |
| | 長束柱 (埋込式) | 2本入り | L=634 長束柱(2)・束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(8)] 門柱アンカーセット(1)[アンカー棒(2)] |
| | | 3本入り | L=634 長束柱(3)・束柱セット部品(1)[φ5×16トラスタッピン3種(12)] 門柱アンカーセット(1)[アンカー棒(3)] |
| 根がらみ | 0.5間 | 2本入り | L=910 根がらみ(2)・セット部品(2)[φ5×16トラスタッピン3種(5)] |
| | 1.0間 | 2本入り | L=1820 根がらみ(2)・セット部品(2)[φ5×16トラスタッピン3種(7)] |
| | 1.5間 | 2本入り | L=2730 根がらみ(2)・セット部品(2)[φ5×16トラスタッピン3種(9)] |
| | 2.0間 | 2本入り | L=3640 根がらみ(2)・セット部品(2)[φ5×16トラスタッピン3種(11)] |

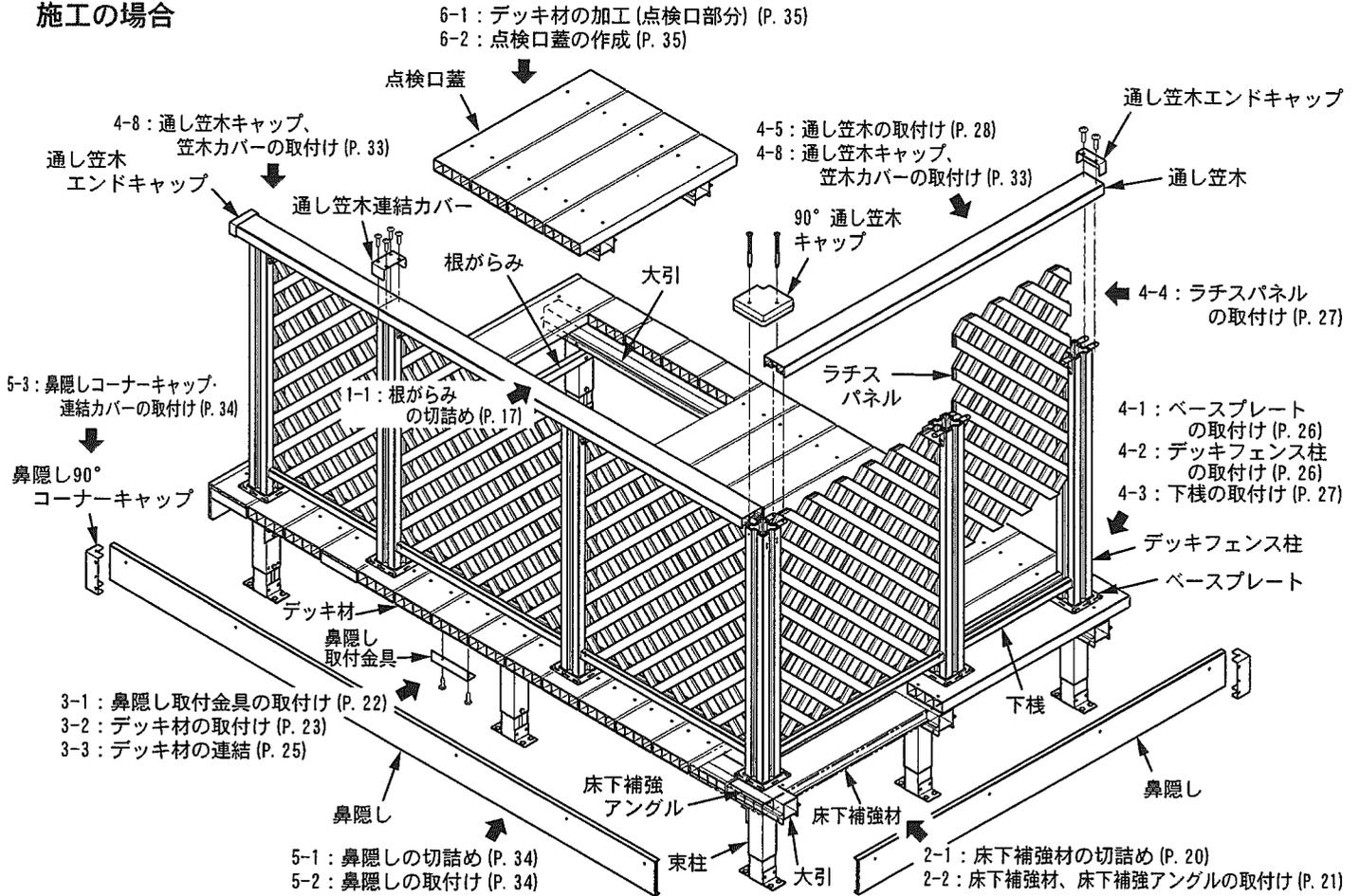
表内の()は個数を表わしています。

| 梱包名称 | | サイズ | 梱包内容 | |
|-----------------|----------------|--------|--|--|
| デッキ材 | 1.0間 | 2本入り | L=1820 デッキ材(2) | |
| | | 3本入り | L=1820 デッキ材(3) | |
| | 1.5間 | 2本入り | L=2730 デッキ材(2) | |
| | | 3本入り | L=2730 デッキ材(3) | |
| | デッキ材取付ビスセット | | | 孔明け用治具(1)・φ5×70皿セルフドリリングビス(115) 取付施工マニュアル[ME-1620](1) |
| デッキ柱連結部品セット | | | デッキ材連結部品(20) | |
| 鼻隠し | 1.0間 | L=1820 | 鼻隠し(1) | |
| | 1.5間 | L=2730 | 鼻隠し(1) | |
| | 鼻隠し90°コーナークャップ | | | 鼻隠し90°コーナークャップ(1)・φ4×12皿タッピン1種(4) |
| | 鼻隠しコーナー自在キャップ | | | 鼻隠しコーナー自在キャップ(1)・φ4×12皿タッピン1種(4) φ4×25皿タッピン1種(2) |
| | 鼻隠し連結キャップ | | | 鼻隠し連結カバー(1)・φ4×12皿タッピン1種(4) |
| | 鼻隠し取付金具 | | | 鼻隠し取付金具(2)・φ4×19セルフドリリングビス(8) φ6×35ナベタッピン1種(4) |
| デッキフェンス柱 | デッキフェンス柱 | | H:1100 デッキフェンス柱(1) | |
| | | | H:1800 デッキフェンス柱(1) | |
| | 柱取付部品 | | H:1100 ベースプレート(1)・φ6×70六角セルフドリリングビス(6) φ4×40ナベタッピン2種(4)・上下胴縁取付金具(6) φ4×19セルフドリリングビス(12)・φ5×12皿タッピン3種(2) φ4×20ナベタッピン1種(4)・φ4×6トラスタッピン1種(8) | |
| | | | H:1800 ベースプレート(1)・φ6×70六角セルフドリリングビス(6) φ4×40ナベタッピン2種(4)・上下胴縁取付金具(4) φ4×19セルフドリリングビス(8)・φ5×12皿タッピン3種(2) φ5×12トラスタッピン3種(2)・M5用平座金(2)・柱キャップ(1) φ4×35セルフドリリングビス(2)・φ4×6トラスタッピン1種(8) | |
| デッキフェンス控え柱 | | H:1800 | デッキフェンス控え柱(1) 控え柱部品セット(1)[柱控え金具(2)・六角セルフドリリングビス(4) M6×65六角ボルト(7)・M6用平座金(12)・M6用バネ座金(6)・M6袋ナット(7)] | |
| 笠木 | 笠木上下棧 | | H:1100 L=1010 通し笠木(1)・下棧(1) | |
| | | | L=2010 通し笠木(1)・下棧(2) | |
| | | | H:1800 L=544 上棧(1)・下棧(1) | |
| | | | L=820 上棧(1)・下棧(1) | |
| | 通し笠木エンドキャップ | | | 通し笠木端部キャップ(2)・φ4×16皿タッピン1種(4) |
| | 通し笠木連結キャップ | | | 通し笠木連結カバー(1)・φ4×16皿タッピン1種(4) |
| 通し笠木90°コーナークャップ | | | 通し笠木90°コーナークャップ(1)・φ4×60皿ガイド付タッピン2種(2) | |
| ラチスパネル | ラチスパネル | | W:634 H:1100 ラチスパネル[W:566×H:978](1) | |
| | | | W:634 H:1800 ラチスパネル[W:566×H:1678](1) | |
| | | | W:910 H:1100 ラチスパネル[W:842×H:978](1) | |
| | | | W:910 H:1800 ラチスパネル[W:842×H:1678](1) | |
| 床下補強材 | 床下補強材 | | L=838 床下補強材(1)・床下補強材ビスセット(1)[φ4×19ナベセルフドリリングビス(4)] | |
| | | | L=1680 床下補強材(1)・床下補強材ビスセット(1)[φ4×19ナベセルフドリリングビス(8)] | |
| 階段部品 | 樹脂材 | | デッキ材(2)・鼻隠し(2) | |
| | アルミ材 | | 大引(2)・長束柱埋込式(4) 階段材部品セット(1)[デッキフェンス用補強アングル(4) φ6×35ナベタッピン1種(8)・φ5×70皿セルフドリリングビス(18) φ5×16トラスタッピン3種(16)・φ4×12皿タッピン1種(16) 鼻隠し90°コーナークャップ(4)・アンカー棒(4)] | |

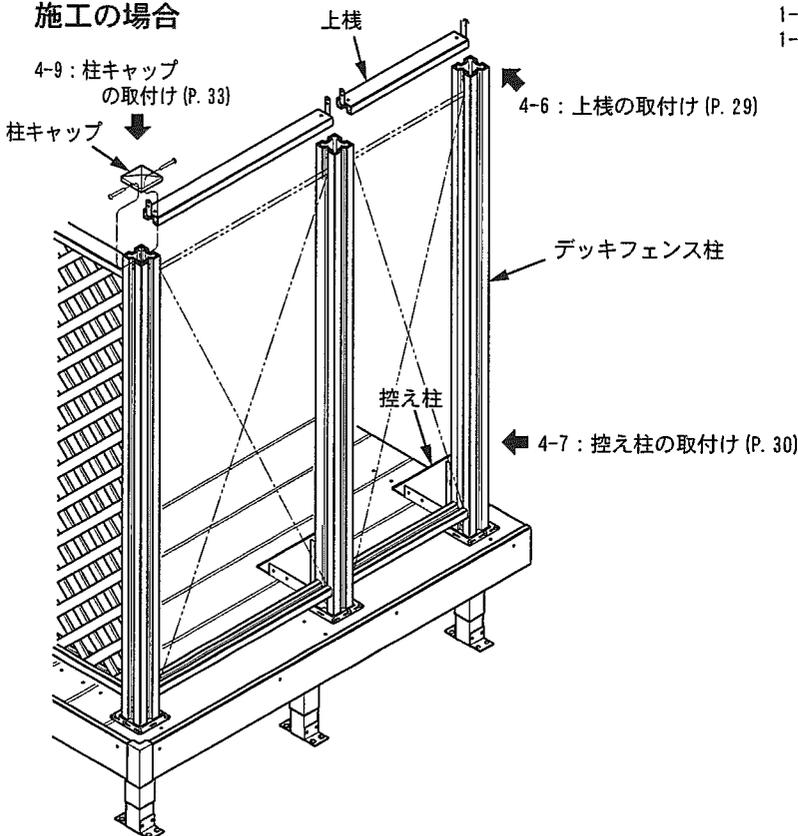
各部の名称

●組立施工および調整の説明項目を示しています。施工作業前に確認してください。
 ●ここでは、デッキフェンスを施工する場合を示しています。
 ※（ ）内は説明ページを示しています。

●デッキフェンス (H:1100タイプ) 施工の場合



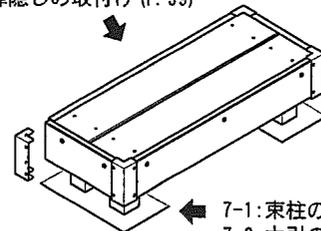
●デッキフェンス (H:1800タイプ) 施工の場合



- 1-1: 根がらみの切詰め (P. 17)
- 1-2: 大引・根がらみの取付け (P. 17)
- 1-3: 束柱の設置 (P. 18)

●ステップ

- 7-4: 鼻隠し取付金具の取付け (P. 38)
- 7-5: 段板 (デッキ材) の取付け (P. 38)
- 7-6: 鼻隠しの取付け (P. 39)



- 7-1: 束柱の切詰め (P. 37)
- 7-2: 大引の取付け (P. 37)
- 7-3: 束柱の埋め込み (P. 37)

納まり図

●この納まり図は、間口 (W):1.5間、奥行 (D):6尺の場合を示しています。

基本寸法一覧表

■間口寸法

| 間口 | W | 間口 | W |
|------|------|------|------|
| 1.0間 | 1820 | 2.5間 | 4550 |
| 1.5間 | 2730 | 3.0間 | 5640 |
| 2.0間 | 3640 | 3.5間 | 6370 |
| | | 4.0間 | 7280 |

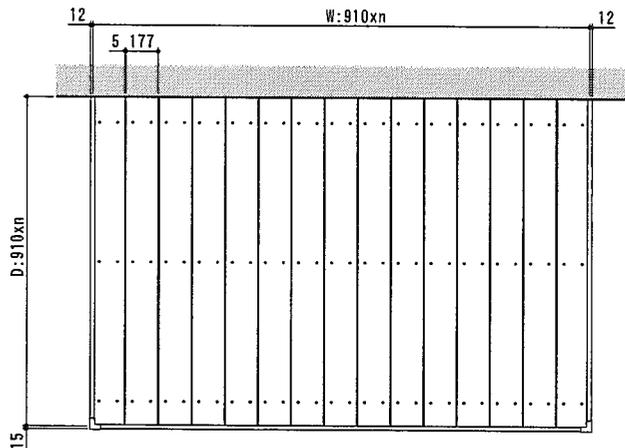
■奥行寸法

| 出巾 | D |
|-----|------|
| 3尺 | 910 |
| 6尺 | 1820 |
| 9尺 | 2730 |
| 12尺 | 3640 |

■高さ寸法

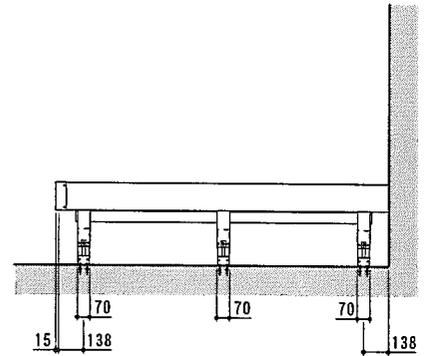
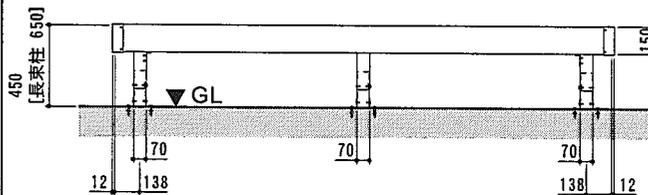
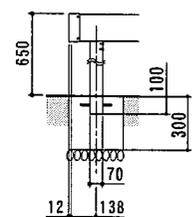
| 奥行 | 標準柱 (調整式) | 長束柱 (調整式) | 長束柱 (埋込式) |
|----|--------------|--------------|--------------|
| H | 450 | 650 | 650 |

デッキ縦張り標準納まり

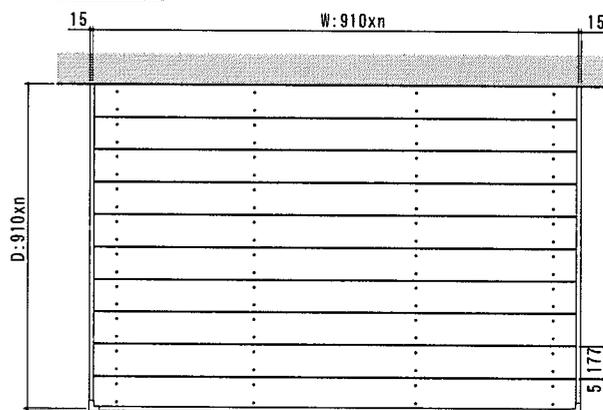


ME1620-003

●埋込式長束柱

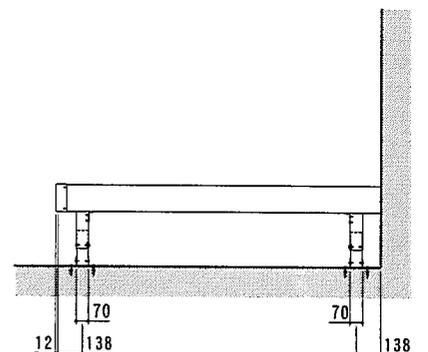
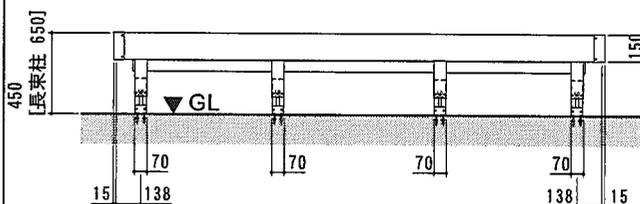
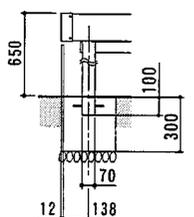


デッキ横張り標準納まり

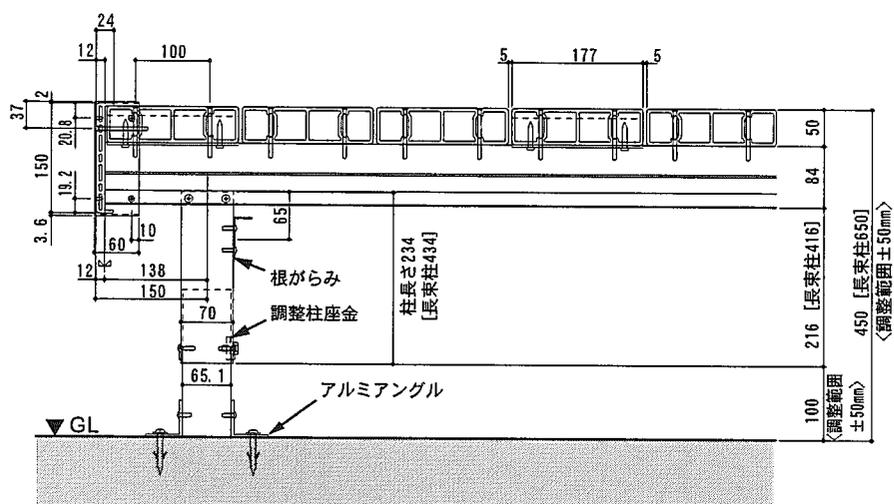
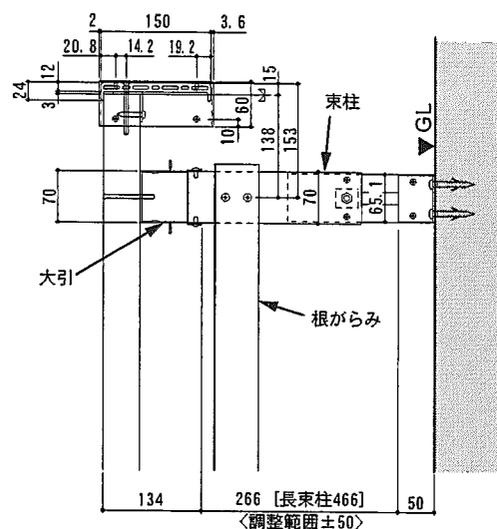
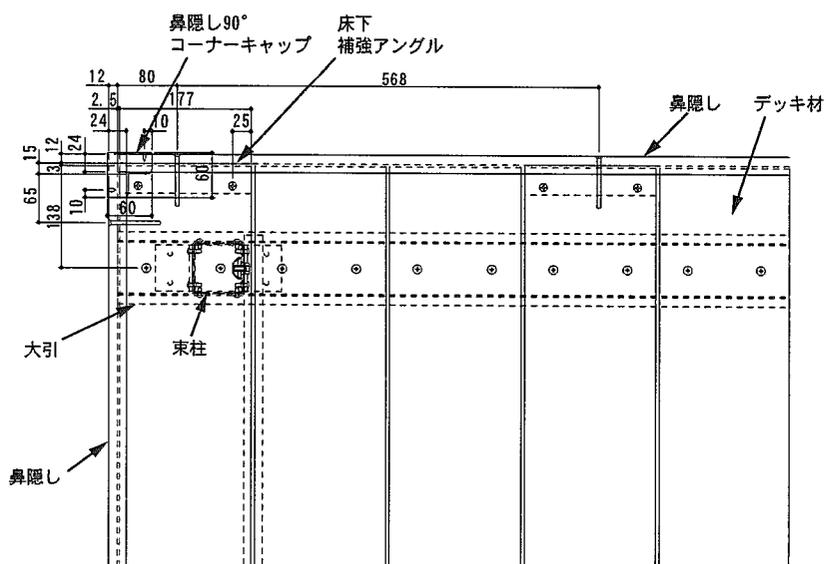


ME1620-004

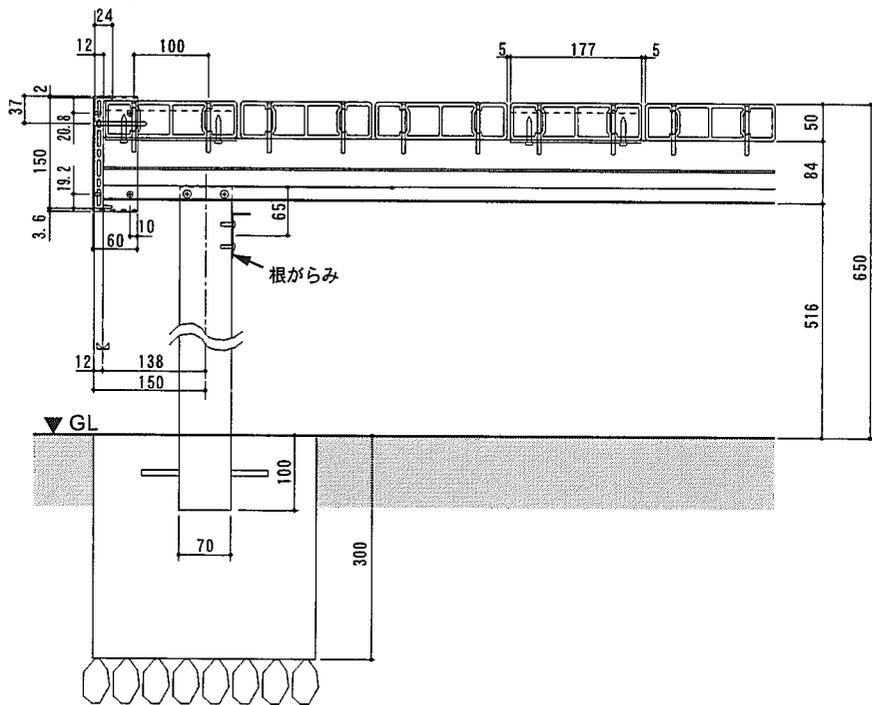
●埋込式長束柱



基本断面図



●埋込式長束柱



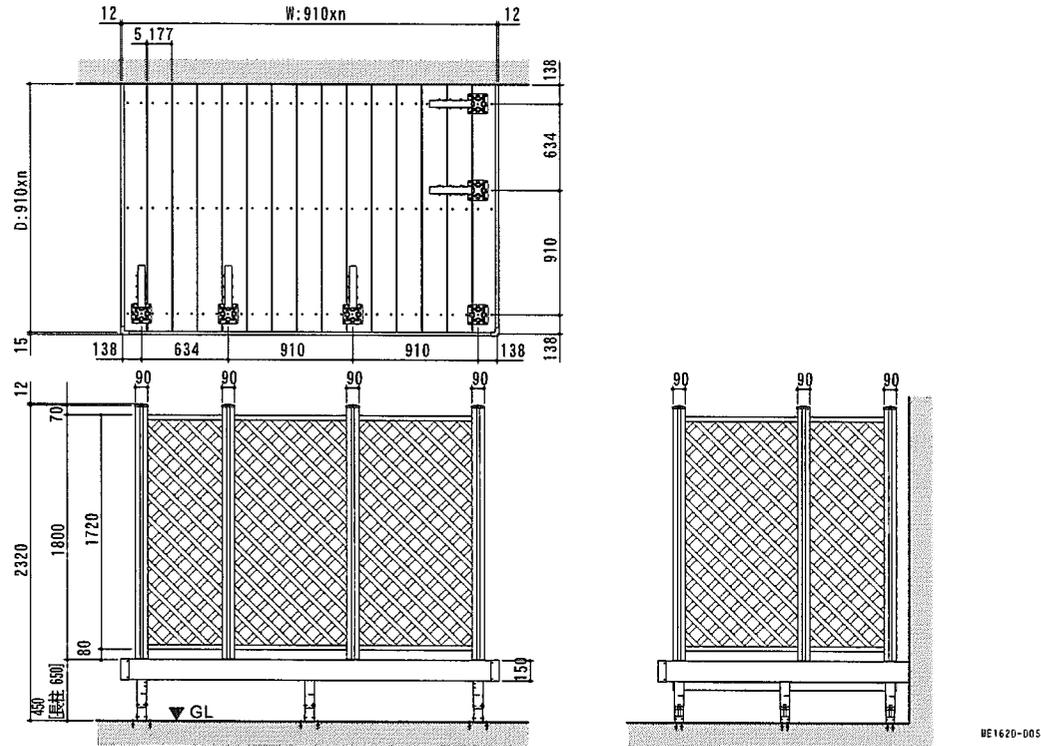
ME1620-017

納まり図

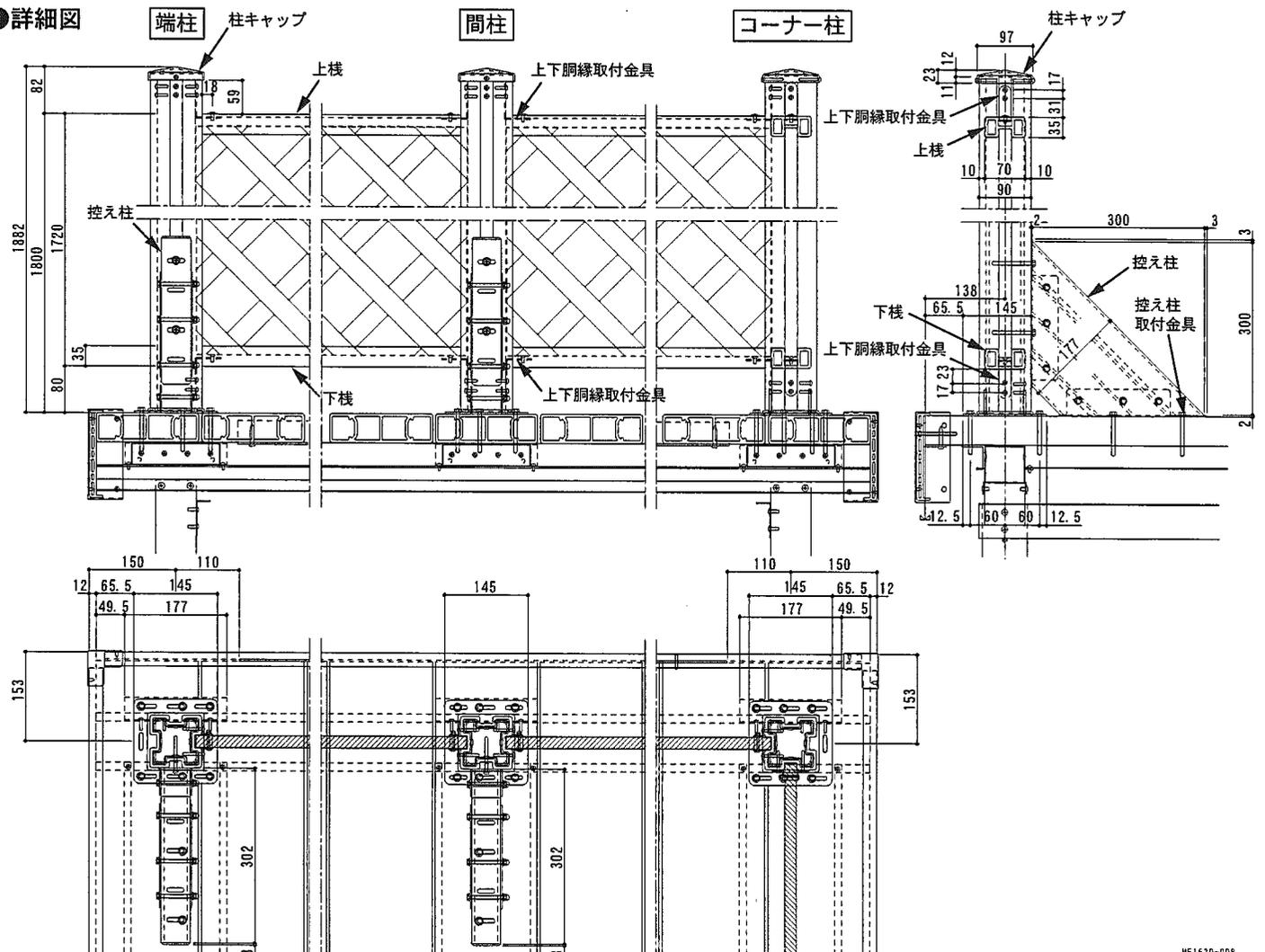
デッキフェンスH:1800タイプ納まり 控え柱納まり

※この納まり図は、間口 (W):1.5間、奥行 (D):6尺の本体に、デッキフェンスをL字型に納めた場合を示しています。

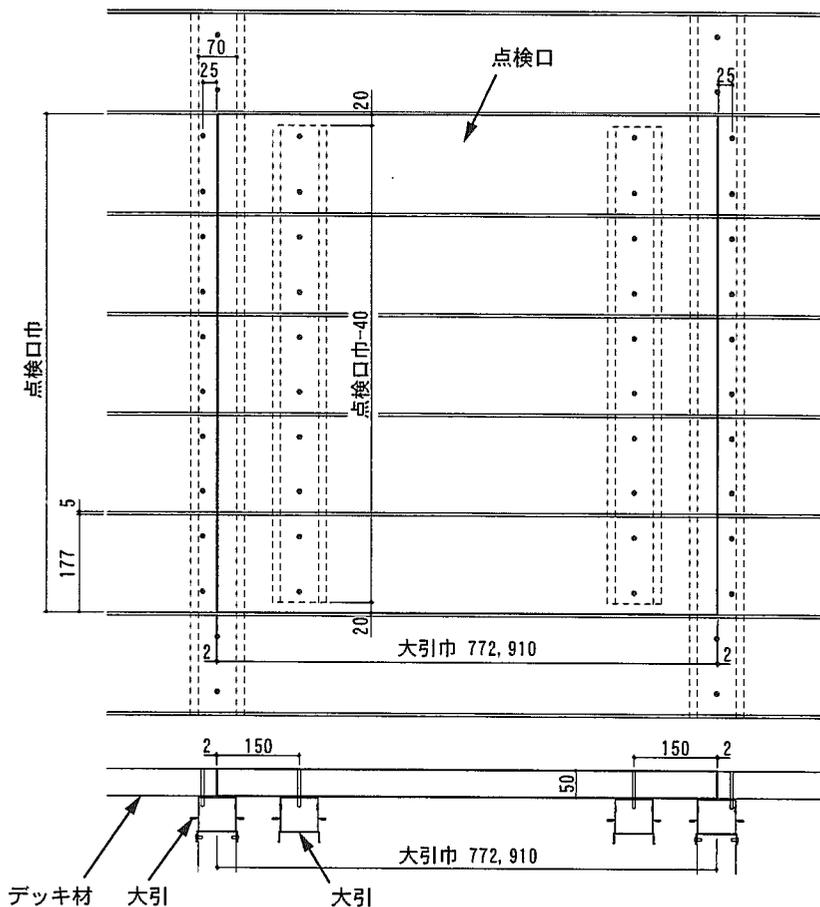
●基本納まり図



●詳細図

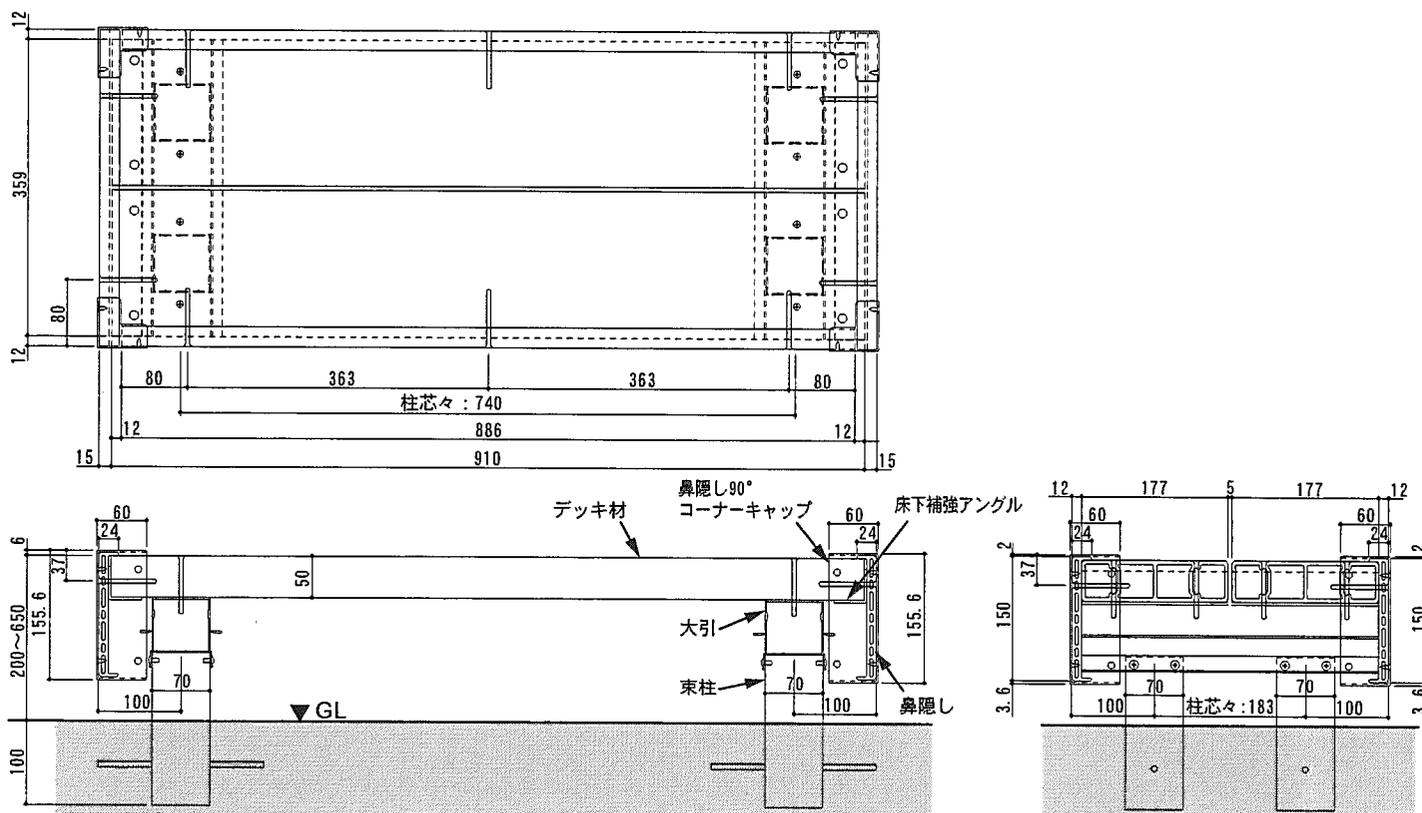


点検口納まり



ME1620-011

ステップ納まり

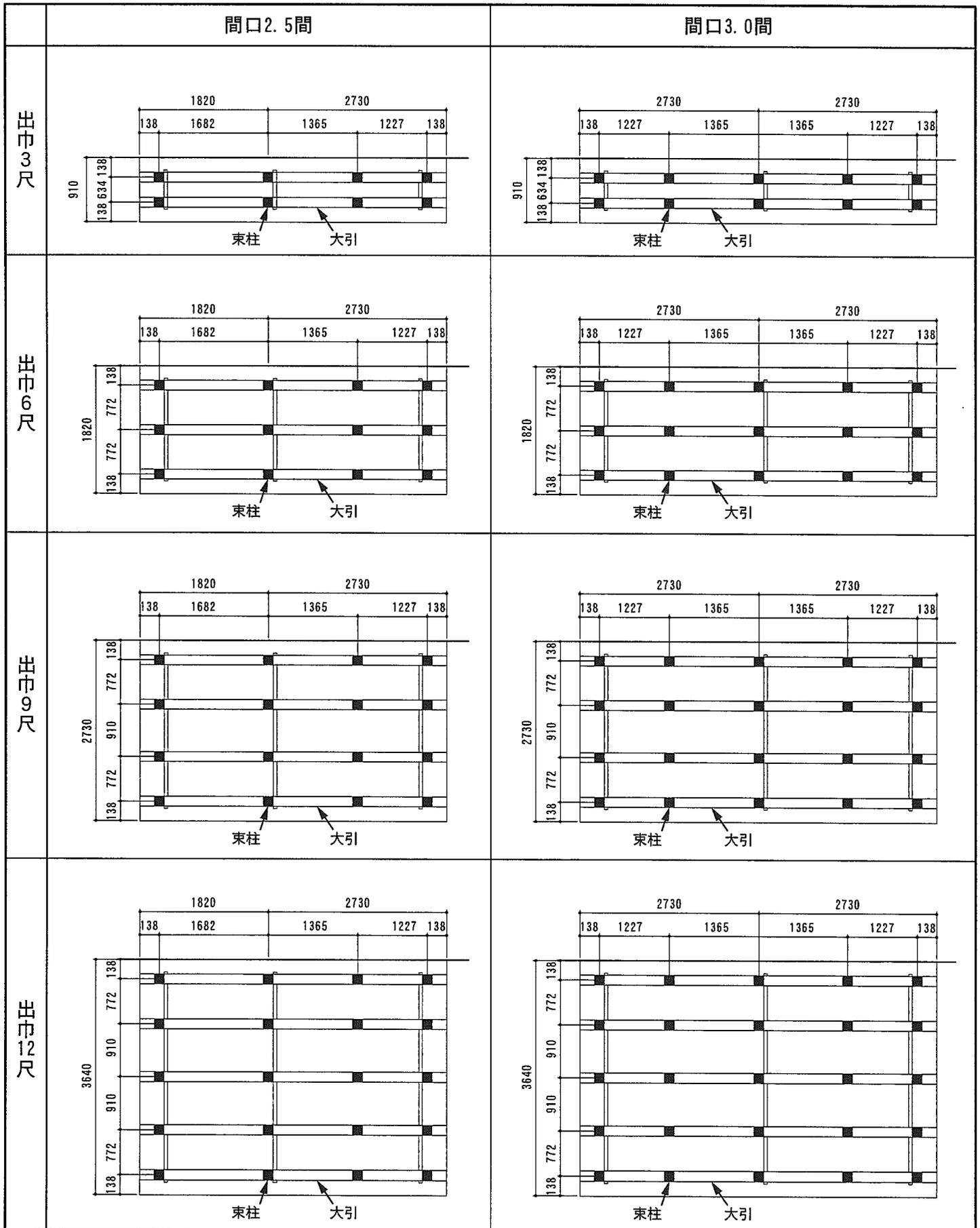


ME1620-012

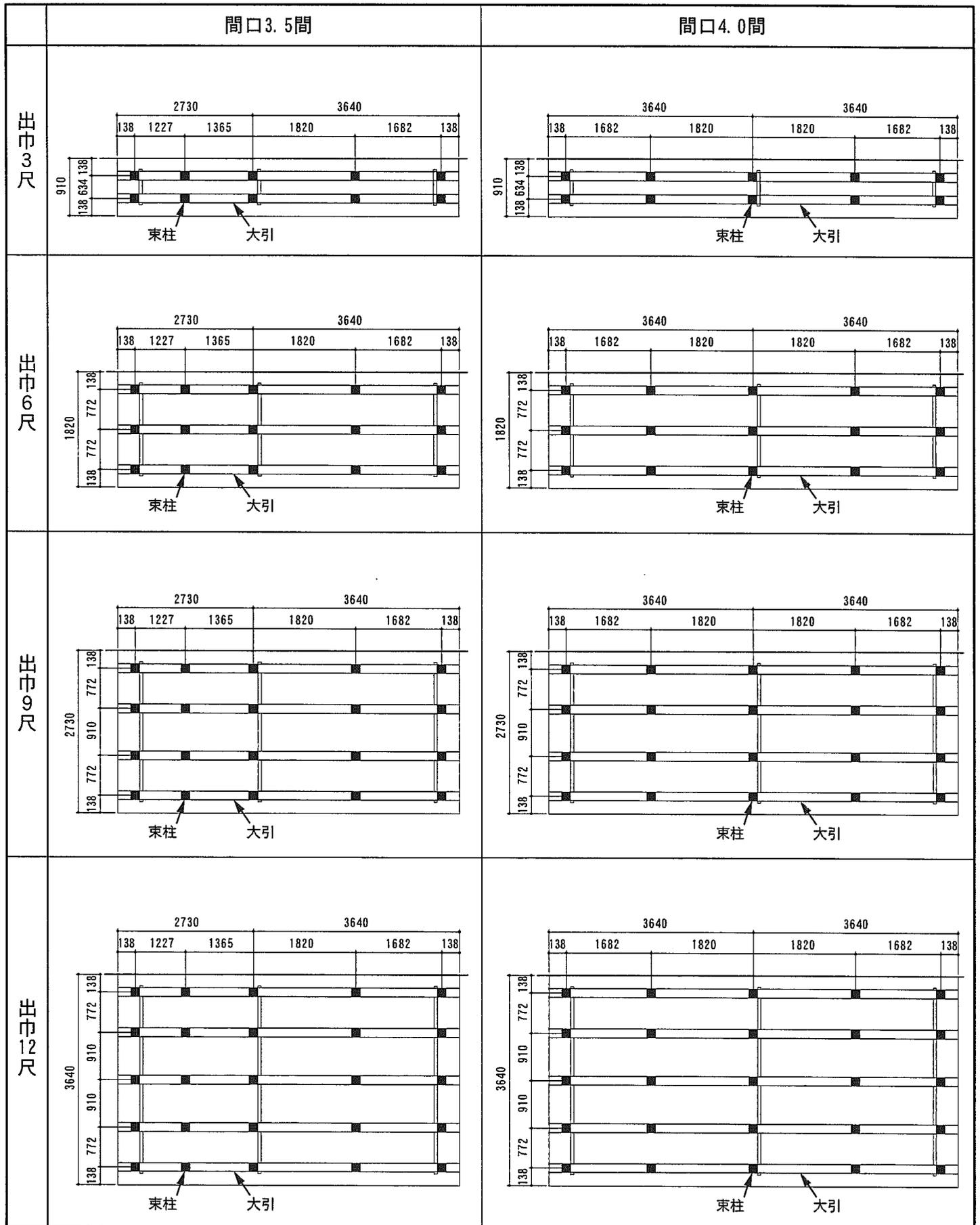
束柱・大引位置図

デッキ材縦張り

| | 間口1.0間 | 間口1.5間 | 間口2.0間 |
|-------|---|--|--|
| 出巾3尺 | <p>1820 138 1544 138 910 138 634 138 束柱 大引</p> | <p>2730 138 1227 1227 138 910 138 634 138 束柱 大引</p> | <p>3640 138 1682 1682 138 910 138 634 138 束柱 大引</p> |
| 出巾6尺 | <p>1820 138 1544 138 1820 138 772 772 138 束柱 大引</p> | <p>2730 138 1227 1227 138 1820 138 772 772 138 束柱 大引</p> | <p>3640 138 1682 1682 138 1820 138 772 772 138 束柱 大引</p> |
| 出巾9尺 | <p>1820 138 1544 138 2730 138 772 910 910 772 138 束柱 大引</p> | <p>2730 138 1227 1227 138 2730 138 772 910 910 772 138 束柱 大引</p> | <p>3640 138 1682 1682 138 2730 138 772 910 910 772 138 束柱 大引</p> |
| 出巾12尺 | <p>1820 138 1544 138 3640 138 772 772 910 910 910 772 138 束柱 大引</p> | <p>2730 138 1227 1227 138 3640 138 772 772 910 910 910 772 138 束柱 大引</p> | <p>3640 138 1682 1682 138 3640 138 772 772 910 910 910 772 138 束柱 大引</p> |



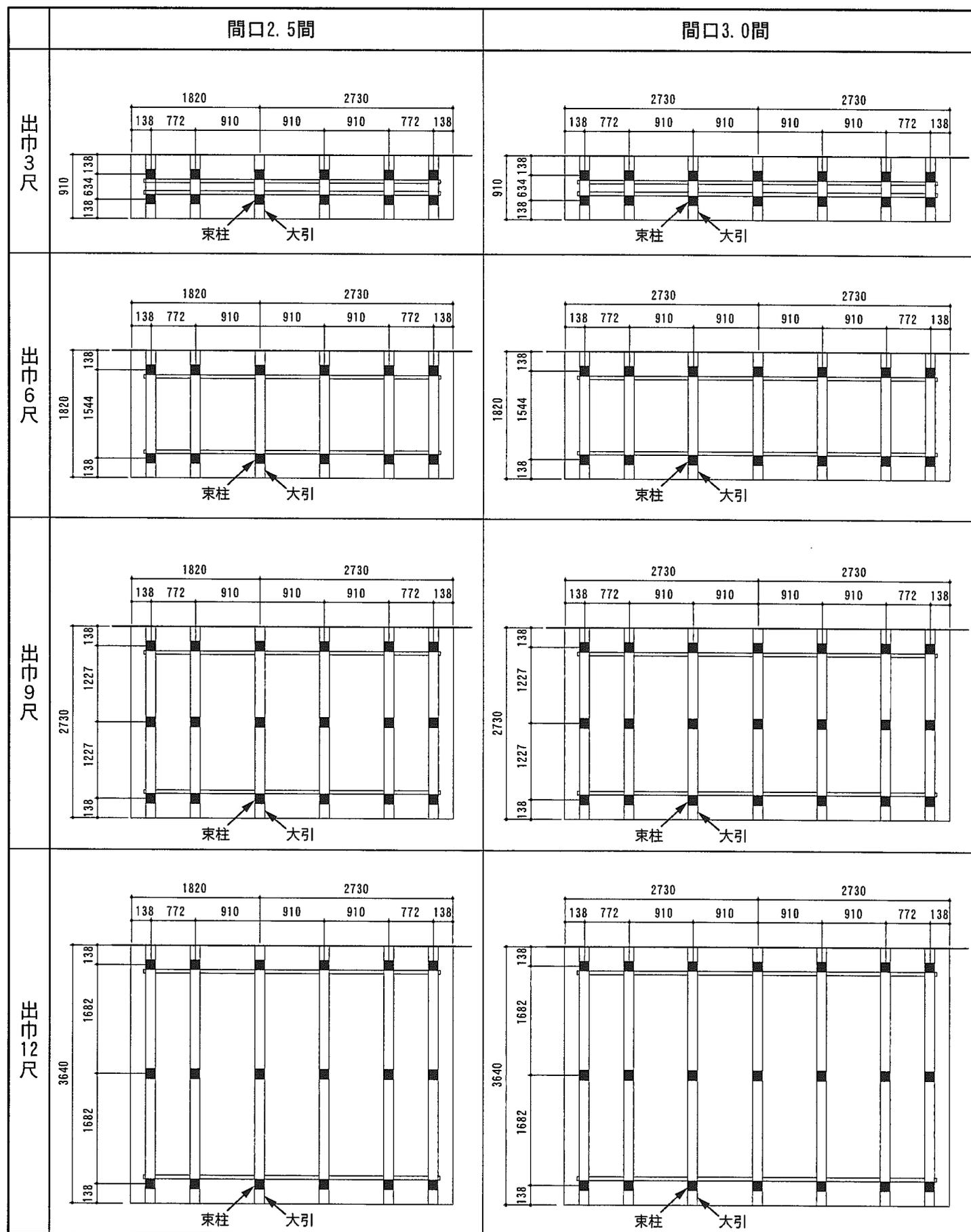
束柱・大引位置図

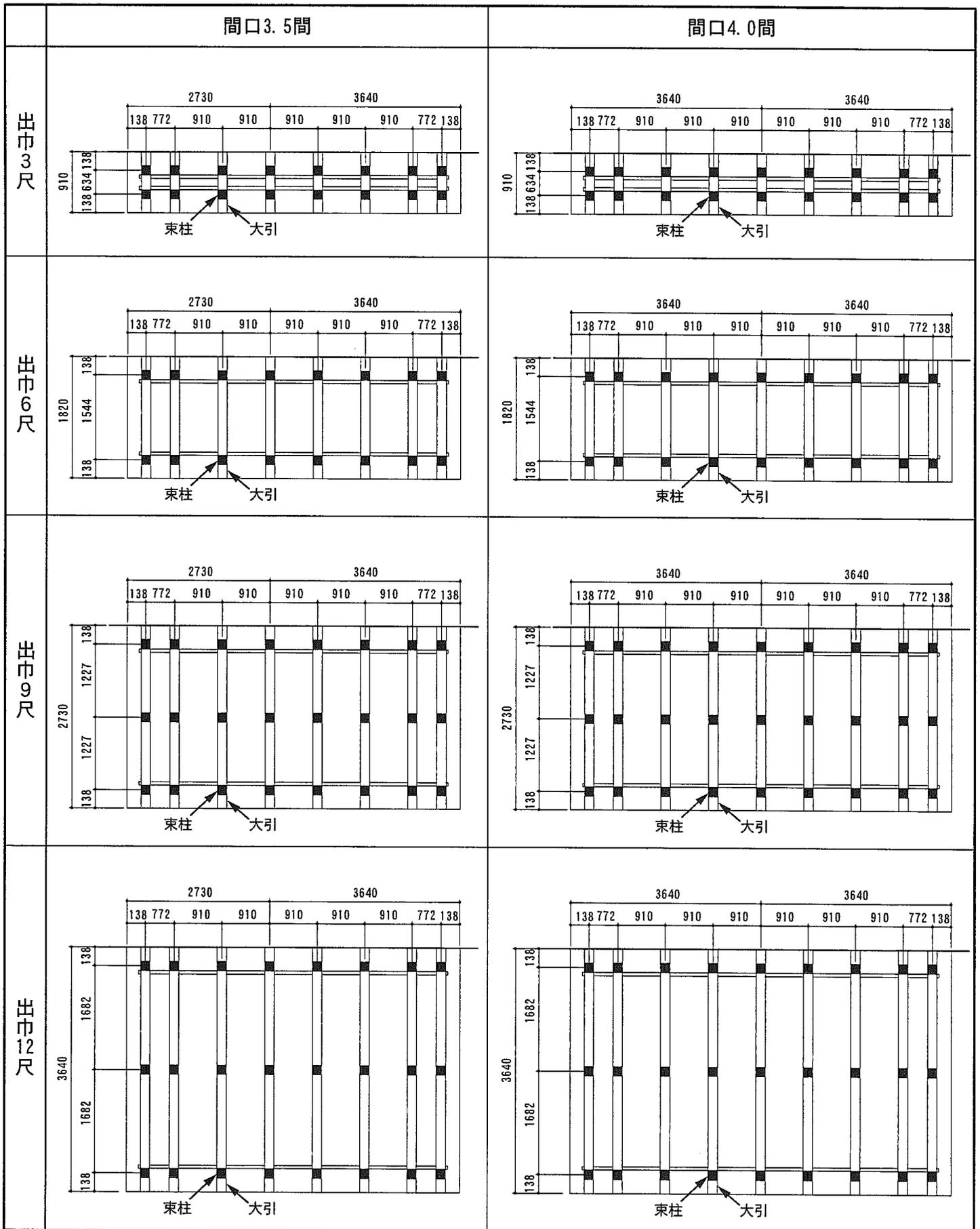


デッキ材横張り

| | 間口1.0間 | 間口1.5間 | 間口2.0間 |
|-------|--------|--------|--------|
| 出巾3尺 | | | |
| 出巾6尺 | | | |
| 出巾9尺 | | | |
| 出巾12尺 | | | |

束柱・大引位置図





施工前の確認

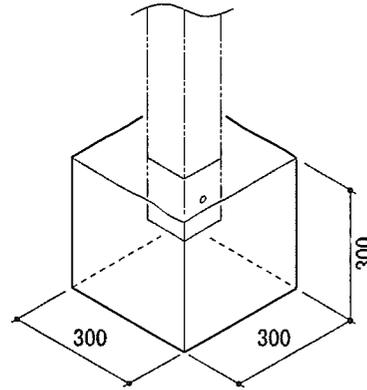
●施工前に確認してください。

埋込柱の基礎穴について

- 埋込柱を使用する場合、施工作业前に「納まり図」を参照して、柱の埋め込み位置を出し、基礎指定寸法以上の穴を掘ってください。



先に、基礎穴を掘っていないと、柱の取付け作業ができません。



ME1620-014

デッキフェンス取付位置の確認

- デッキフェンスを設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。
- デッキフェンス柱は、大引および床下補強材(床下補強アンクル)の上にビス止めできるように、設置位置を決めてください。



デッキフェンス柱は、デッキ材の下に大引および床下補強材(床下補強アンクル)がある位置以外に取付けることができません。

点検口の位置確認

- 点検口を設置する場合は、位置をあらかじめ決めておいてください。
- 点検口は、大引と大引の間に設置位置を決めてください。
- 点検口を設置する部分のデッキ材をあらかじめ切断しておいてください。

1

東柱・大引・根がらみの設置

● 10～15ページの「東柱・大引位置図」を参照し、スパン数に応じて設置してください。

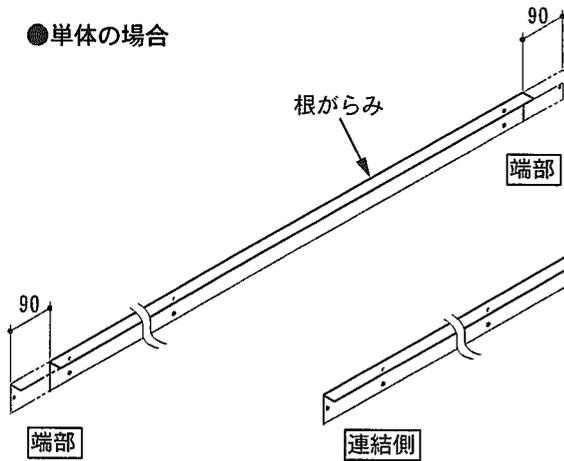
1-1 根がらみの切詰め

①根がらみを切詰めてください。

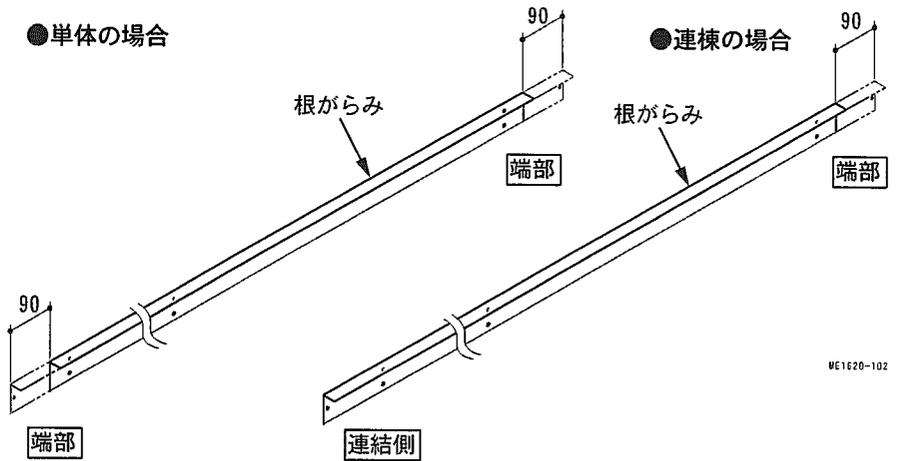


連棟の場合、根がらみの連結側は切詰めないでください。右図を参照して、端部側を切詰めてください。

● 単体の場合



● 連棟の場合

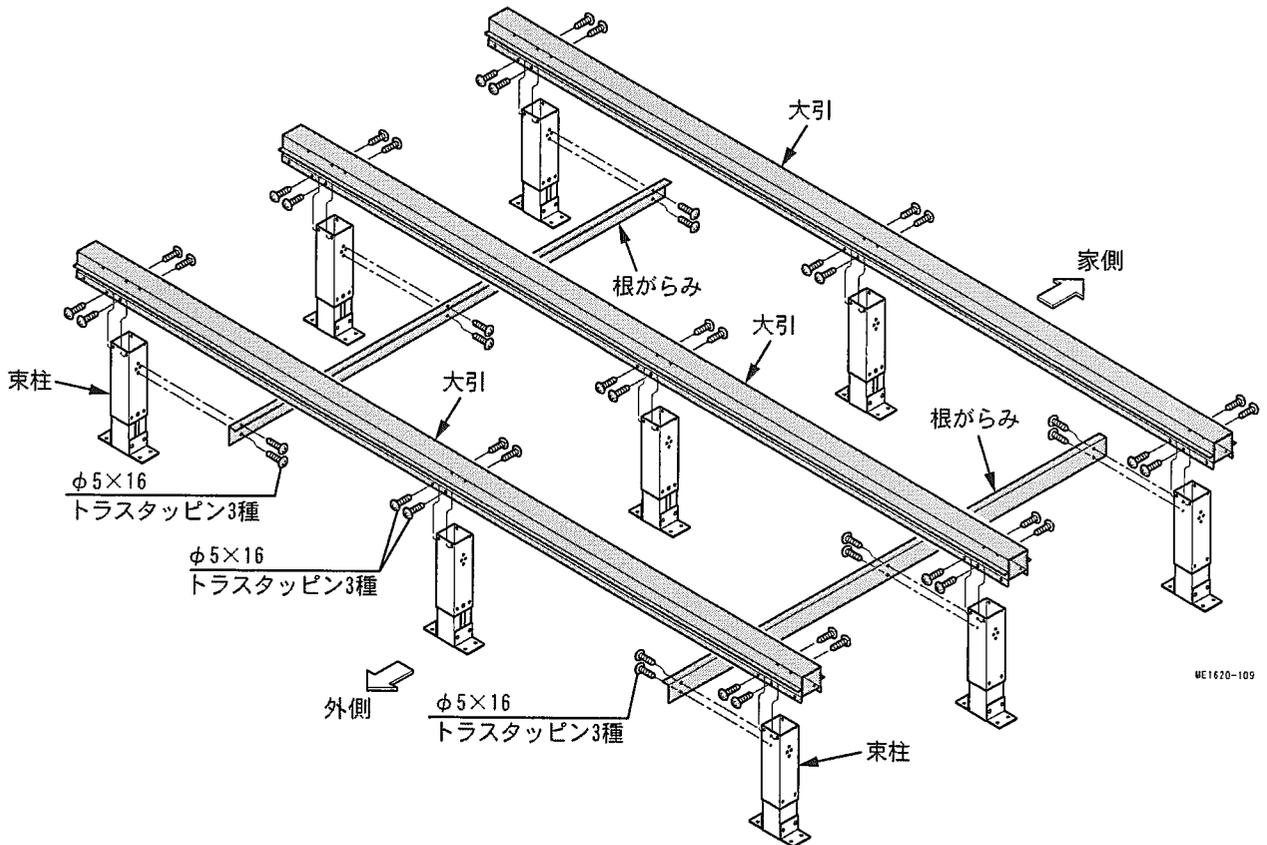


ME1620-102

1-2 大引・根がらみの取付け

①大引・根がらみを東柱に取付けてください。

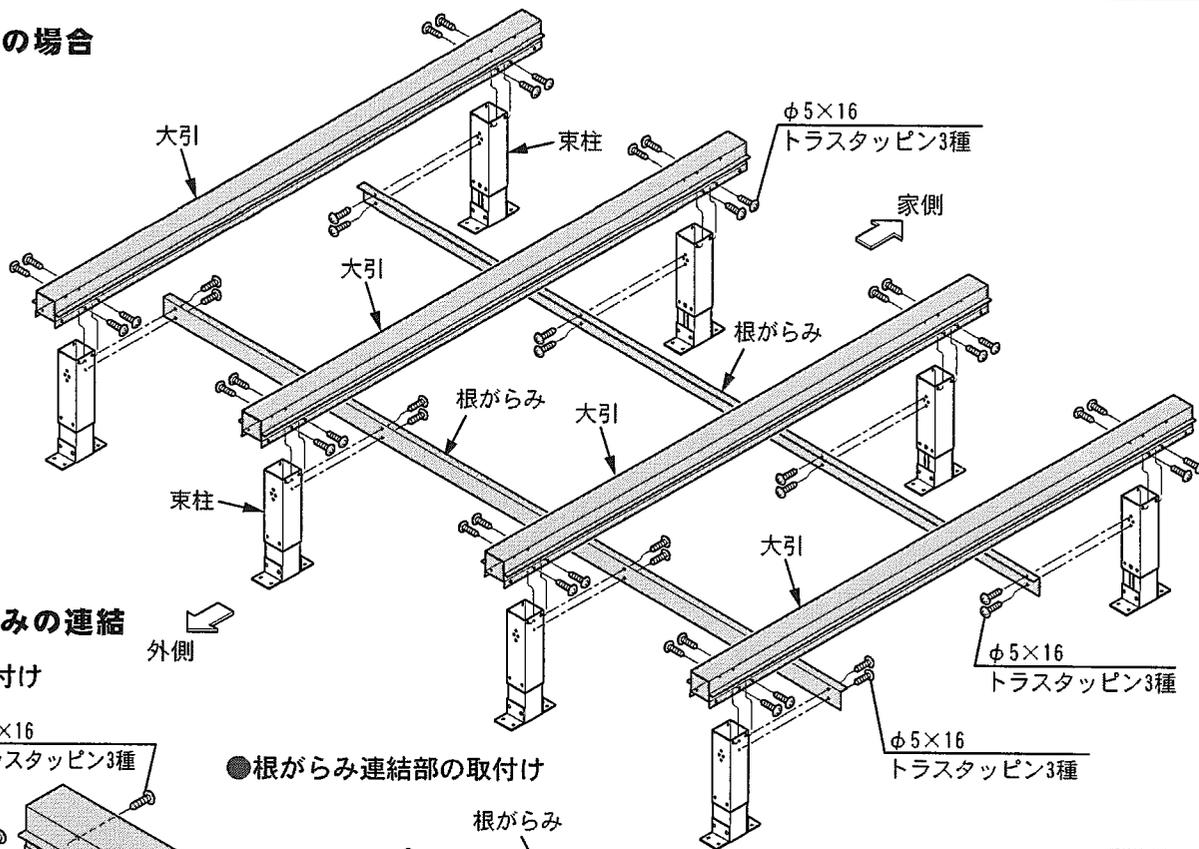
■デッキ縦張りの場合



ME1620-109

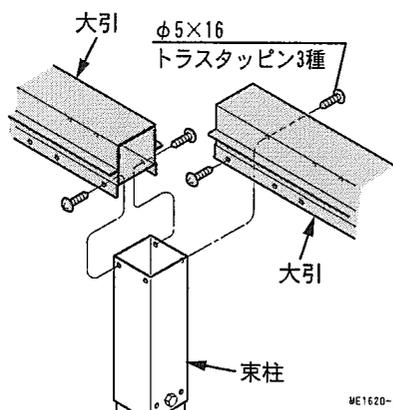
束柱・大引・根がらみの設置

■デッキ横張りの場合



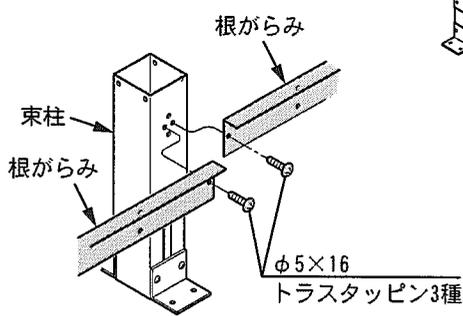
■大引・根がらみの連結

●大引連結部の取付け



ME1620-112

●根がらみ連結部の取付け



ME1620-111

ME1620-110

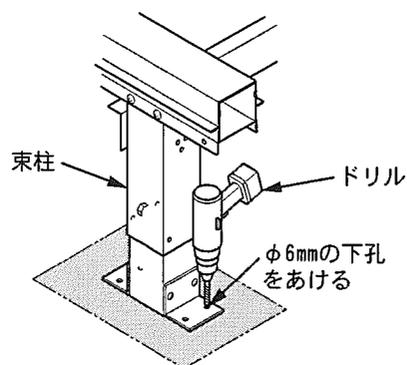
1-3 束柱の設置

■高さ調整柱の設置

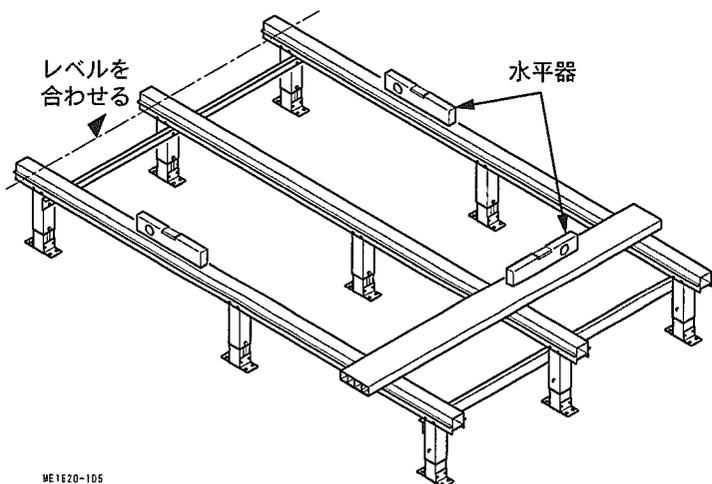
- ①土間の上にφ6mmの孔を4ヶ所あけてください。
- ②プラグビスセットで、束柱を固定してください。



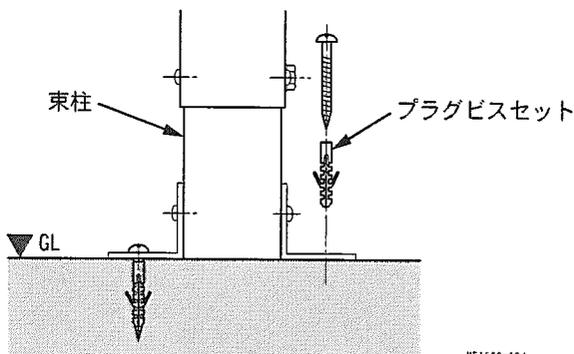
- 柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。
- レベルが合っていないと、デッキの取付け不良の原因となります。



ME1620-103



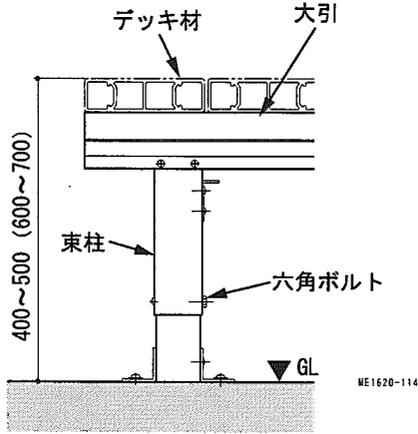
ME1620-105



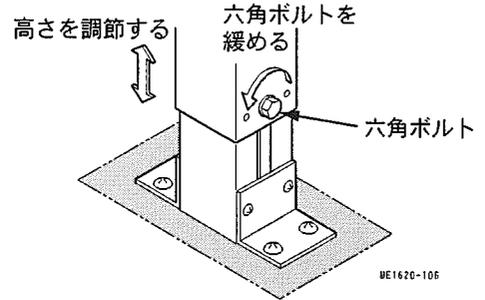
ME1620-104

③必要に応じ、六角ボルトを緩め、高さを調整してください。

●高さ調整可能範囲
 標準束柱：
 GL からデッキ面まで 400～500mm
 長束柱：
 GL からデッキ面まで 600～700mm

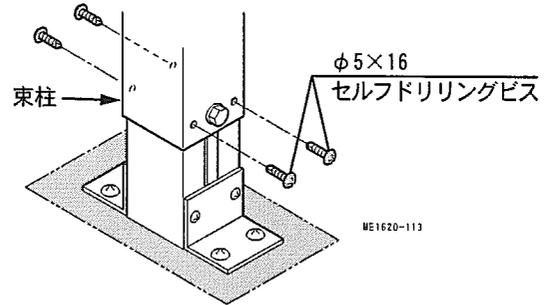


※ () は長束柱の場合を示す。



④調整後、セルフドリリングビスで固定してください。

! 調整後、各ボルト、ビスを確実に締付けてください。



■埋込柱の設置

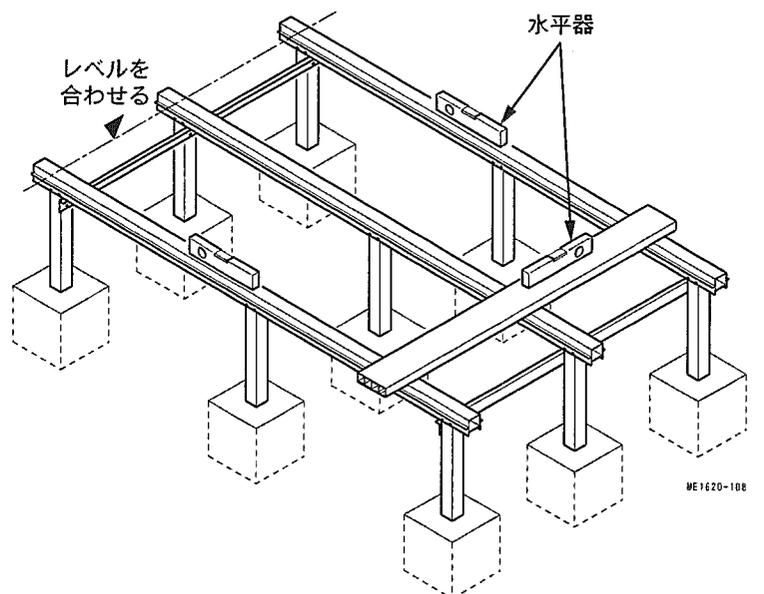
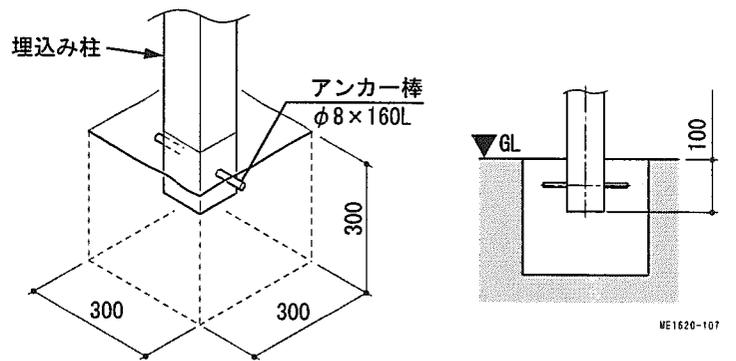
①10～15ページの「束柱・大引位置図」を参照し、束柱の設置位置を確認してください。

! 地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置をきめてください。

②束柱をGL面に埋め込んでください。

!

- 柱は100mm以上埋め込み、基礎寸法は300mm以上としてください。
- 柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。
- レベルが合っていないと、デッキの取付け不良の原因となります。



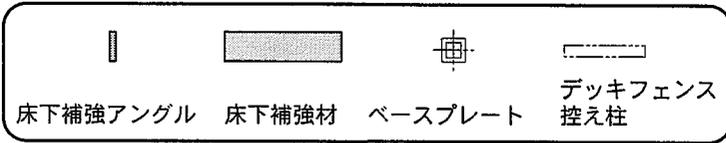
2

床下補強材の取付け



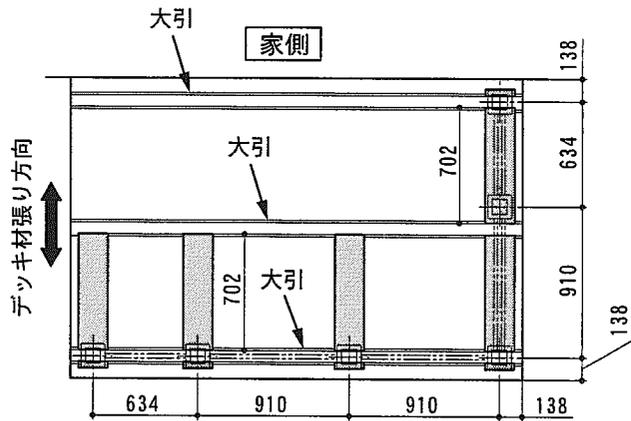
- 作業の前に、完成プランの確認をしてください。
- デッキフェンスを取付ける場合に、作業を行ってください。
(デッキフェンスを取付けない場合は、22ページの「3. デッキ材の取付け」へ進んでください。)

■床下補強材、床下補強アングル取付位置

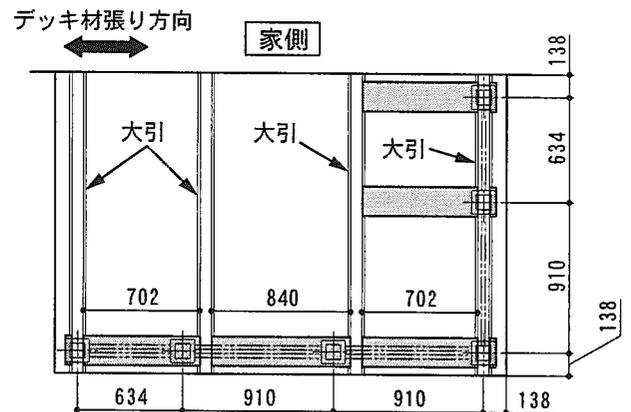


※下図は間口1.5間、出巾6尺の本体に、デッキフェンスをL字型に納めた場合を示しています。

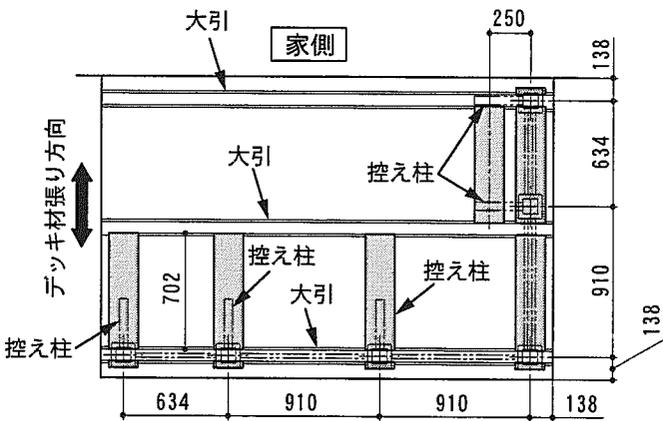
H:1100 デッキ縦張り



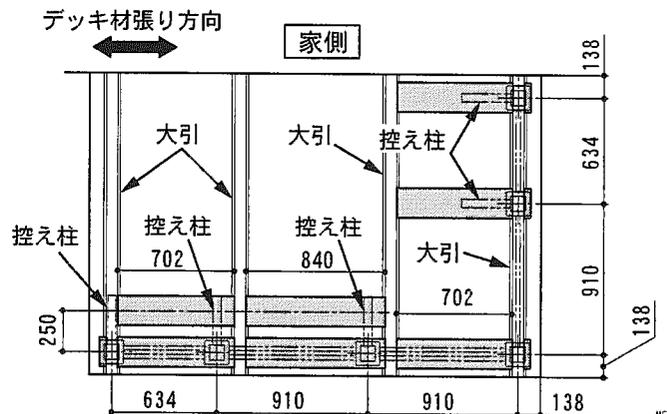
H:1100 デッキ横張り



H:1800 デッキ縦張り



H:1800 デッキ横張り



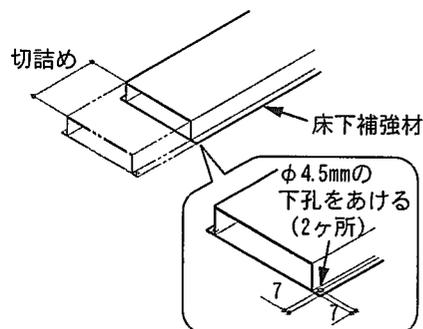
ME1620-224

2-1 床下補強材の切詰め



出巾や間口巾に応じて、切詰め作業を行ってください。

- ①大引間の寸法に応じて、床下補強材を切詰めてください。
- ②φ4.5mmの下孔(2ヶ所)をあけてください。

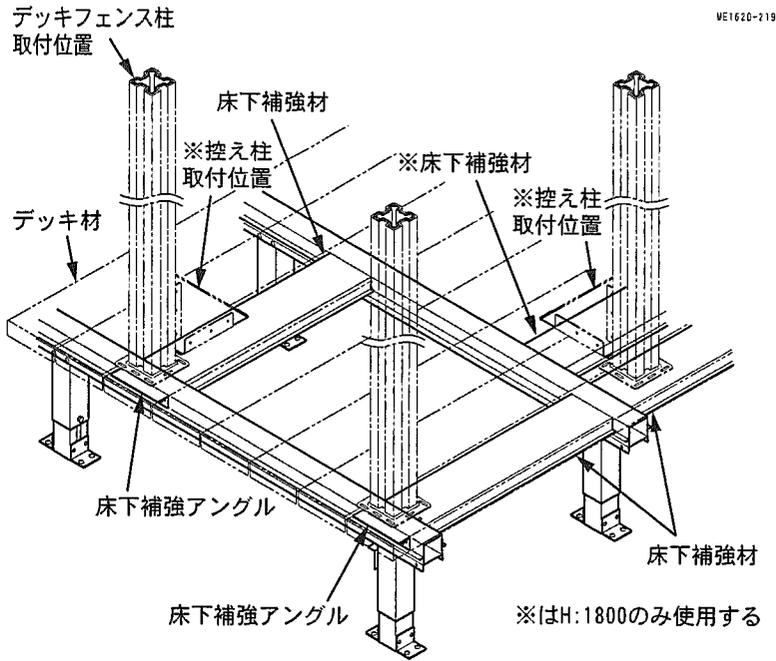


ME1620-203

**2-2 床下補強材、
床下補強アングルの取付け**

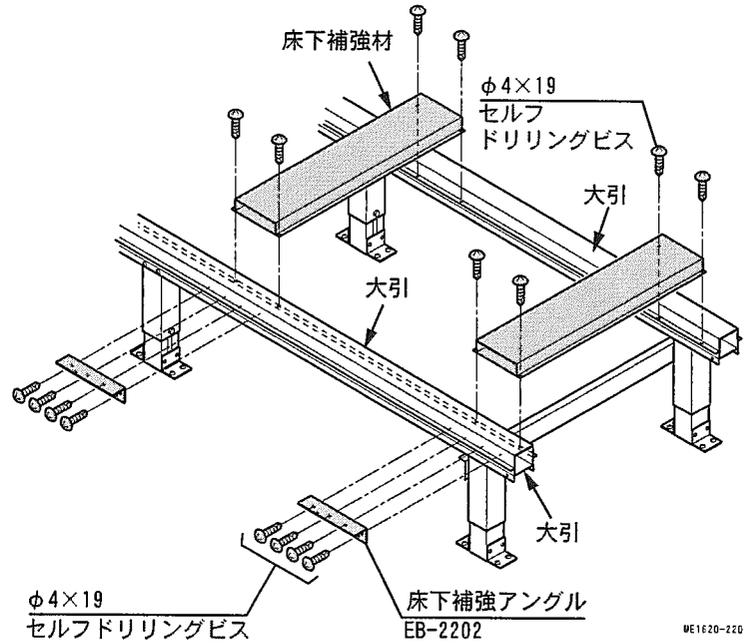
- 床下補強材は、デッキフェンス柱取付位置下の大引間に取付けてください。
- H:1800の場合、控え柱取付位置下の
大引間にも床下補強材を取付けてく
ださい。
- 床下補強アングルは、鼻隠し取付金
具と同じ部品です。

●取付けイメージ

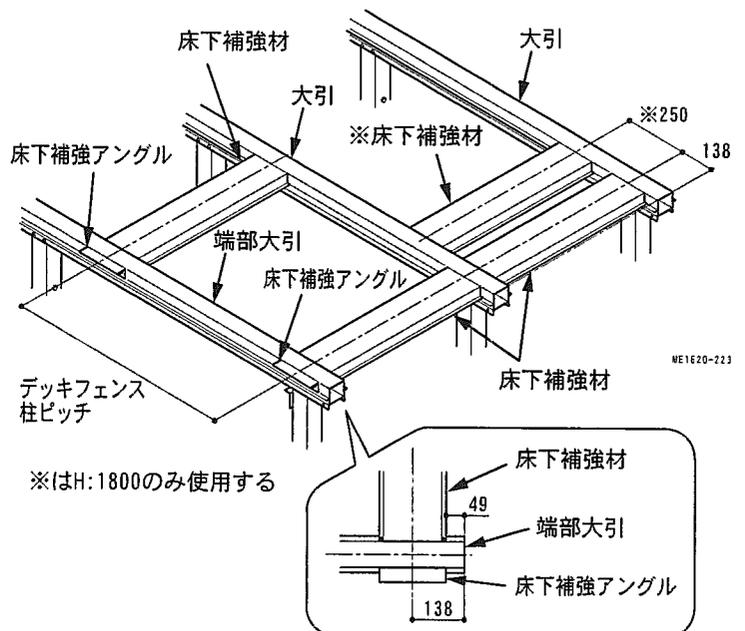


WE1620-219

- ①床下補強材を大引に取付けてください。
- ②端部大引にまたがってデッキフェンス柱が取付く場合は、床下補強アングルをデッキフェンス柱の取付位置に取付けてください。



WE1620-220



WE1620-223

3

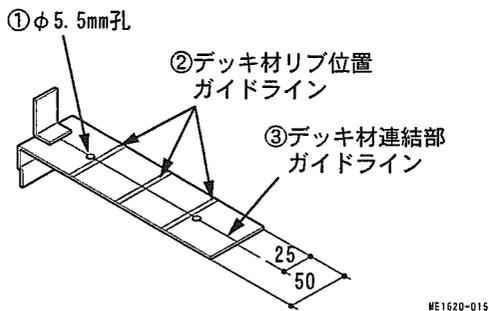
デッキ材の取付け



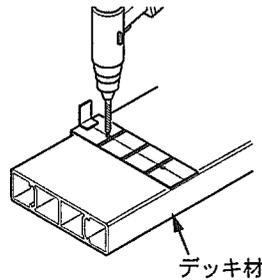
- デッキ材を取付ける前に、完成プランの確認をしてください。
- デッキフェンスを取付ける場合は、デッキ材の取付前に、床下補強材を取付けてください。
(床下補強材の取付けについては、20ページの「2. 床下補強材の取付け」を参照してください。)
- 点検口を設置する場合は、あらかじめ点検口設置位置のデッキ材を切断した状態で、デッキ材の取付作業を行ってください。
(点検口の施工については、35ページの「6. 点検口の施工」を参照してください。)

孔明け用治具の使用方法

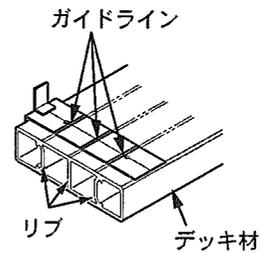
- 孔明け用治具を使用することにより、デッキ材に正確に孔あけすることができます。



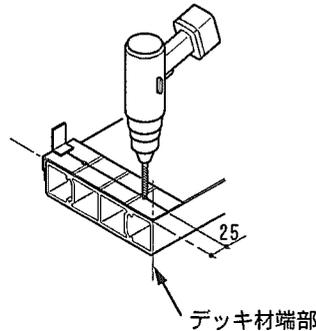
①デッキ材への孔あけ位置を表す。



②ビスの取付けができないデッキ材のリブの位置を表す。



③デッキ材端部に合わせて25mmの下孔加工位置を表す。



WE1620-016

3-1 鼻隠し取付金具の取付け

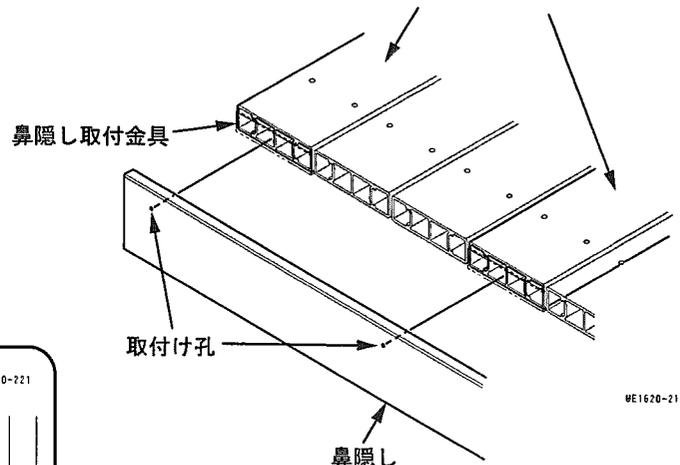


デッキ材を大引に取付ける前に、作業を行ってください。



- 鼻隠しには取付け孔があいています。取付け孔と一致する位置にあるデッキ材に鼻隠し取付金具を取付けてください。
- 鼻隠し取付孔の位置は、鼻隠しサイズにより異なります。また、左右非対称になりますので注意してください。

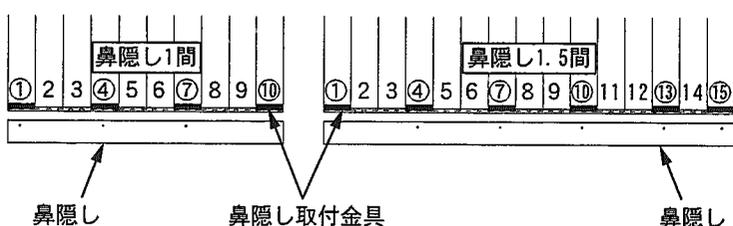
鼻隠しの取付け孔の位置にくるデッキ材に鼻隠し取付金具を取付ける



WE1620-218

●鼻隠しサイズによる、鼻隠し取付金具の取付位置

WE1620-221



①鼻隠し取付金具をデッキ材の小口側に取付けてください。

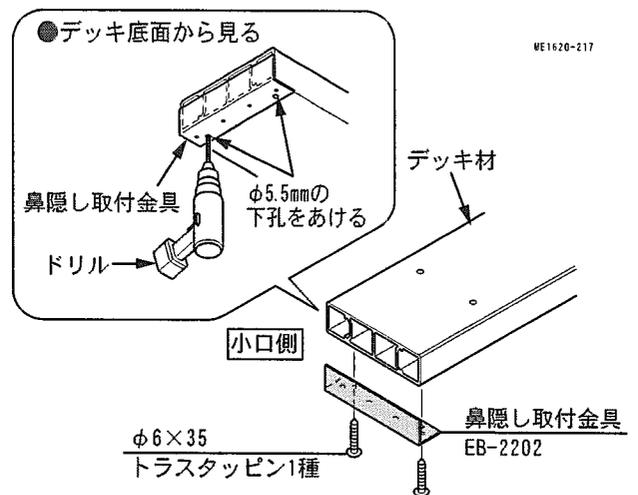


鼻隠し取付金具は、デッキ材の側面には取付けません。



施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



3-2

デッキ材の取付け



- 作業前に、完成プランの確認をしてください。
- デッキフェンスを取付ける場合は、先に床下補強材を取付けてください。
(床下補強材の取付けについては、20ページの「2. 床下補強材の取付け」を参照してください。)
- 点検口を設置する場合は、あらかじめ点検口設置位置のデッキ材を切断した状態で、デッキ材の取付作業を行ってください。
(点検口の施工については、35ページの「6. 点検口の施工」を参照してください。)

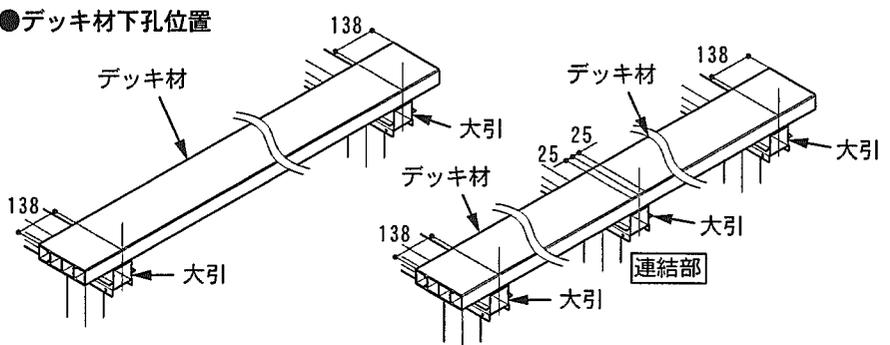


- デッキ材に下孔をあける際は、孔明け用治具を使用してください。
- 孔明け用治具を使用すると、デッキ間の目地巾5mmを正確に出すことができます。



下孔の皿加工は、市販の皿取錐などを使用してください。

●デッキ材下孔位置

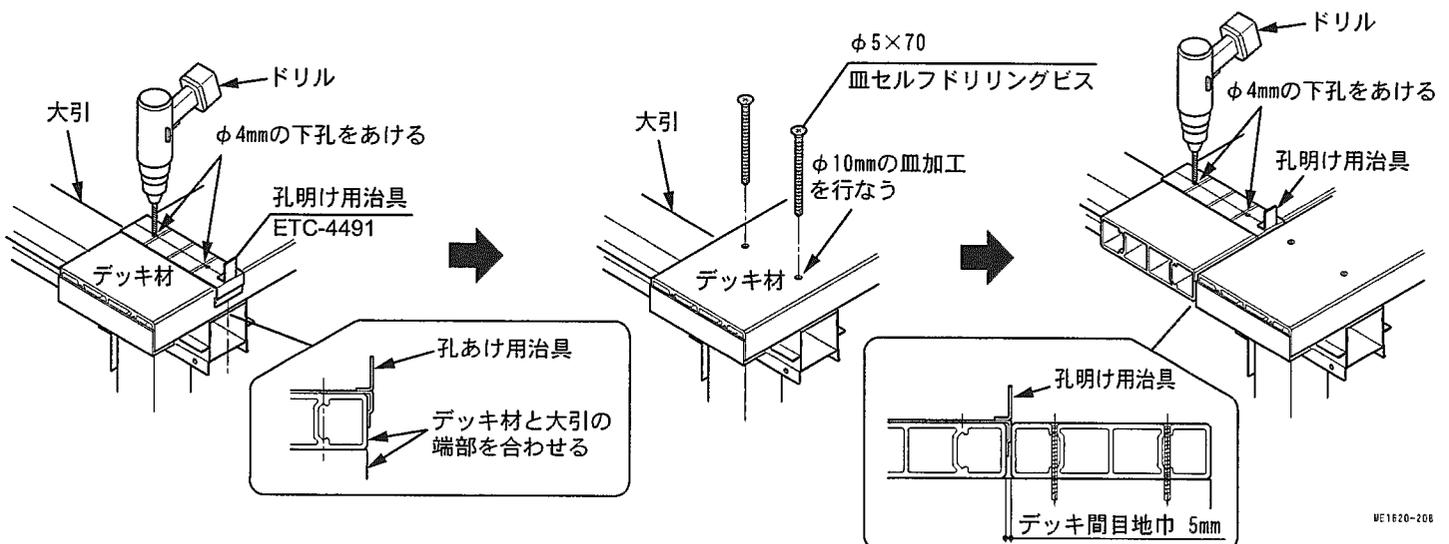


※デッキ材単体の場合

※デッキ材連棟の場合

WE1620-206

- ①デッキ材を大引の端部に合わせて、配置してください。
- ②孔明け用治具を使用して、デッキ材と大引にφ4mmの下孔をあけてください。
- ③デッキ材表面にφ10mmの皿加工を行ってください。



WE1620-206

デッキ材の取付け

④デッキ材を大引に固定してください。



デッキ材を固定する際に、電動ドライバー等で締付け過ぎないようにしてください。締付けすぎるとデッキ材が割れる恐れがあります。

⑤2枚目以降は、孔明け用治具にて、目地巾5mmを出してから、②～④同様の手順にて、デッキ材を取付けてください。

⑥上記と同様の手順で、全てのデッキ材を取付けてください。

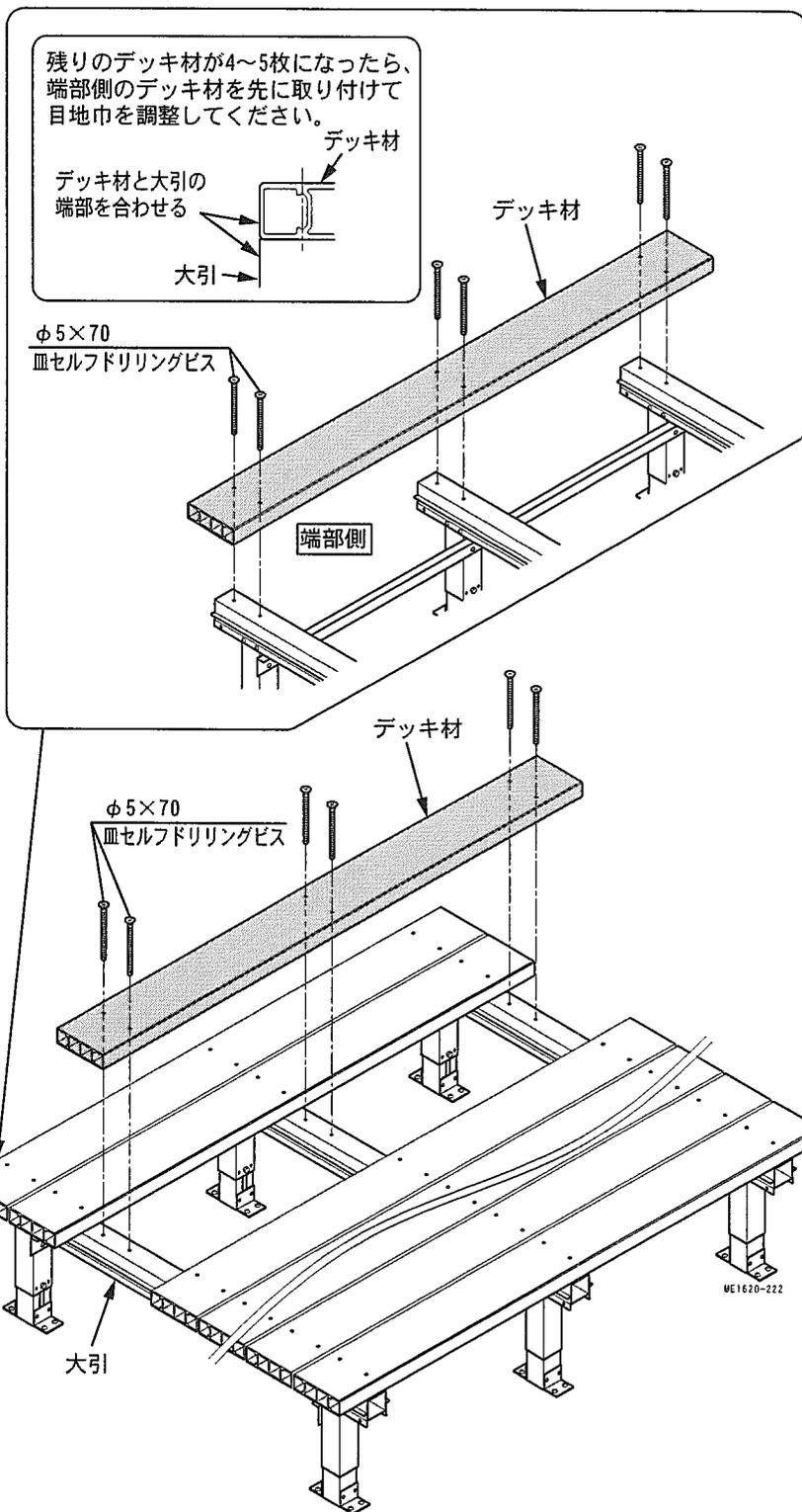


- 皿ビスの頭が必ずデッキ面以下となるようにしてください。
- ビス部分に樹脂のささくれ等が発生した場合は、必ずヤスリで仕上げてください。

※デッキ面が仕上がっていないと、ケガの原因になります。



最後の4～5枚で目地巾を調整し、デッキ材を取付けてください。

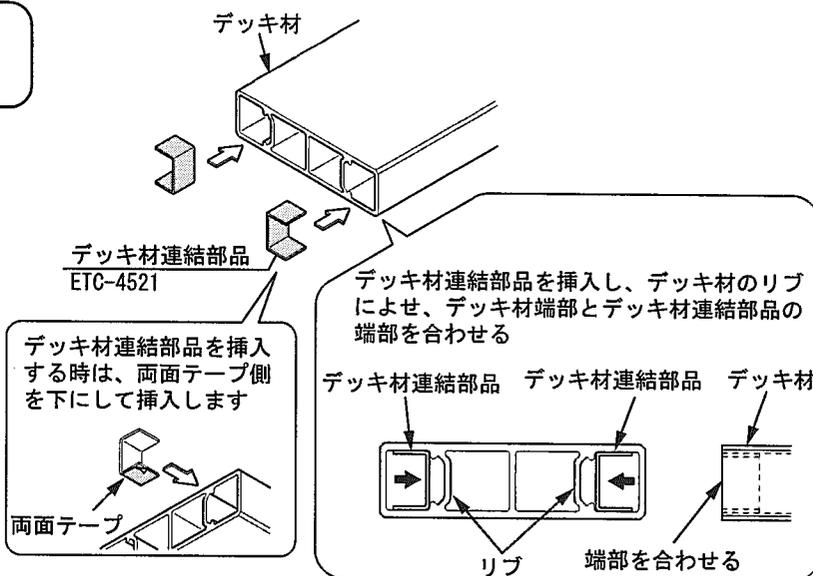


3-3 デッキ材の連結

! デッキ材の連結は、必ず大引の中心で行ってください。

①デッキ材の連結側端部に、デッキ材連結部品を右図のように挿入し、デッキ材に貼付けてください。

! デッキ材連結部品とデッキ材の端部を合わせてください。



②デッキ材の端部を大引の中心に合わせて配置してください。

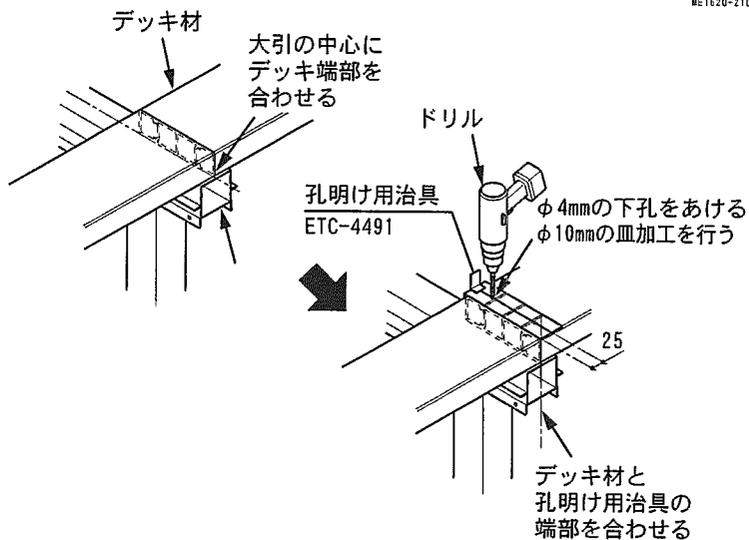
③デッキ材端部と孔明け用治具の端部を合わせて、デッキ材端部から25mmの位置を出してください。

! ビス位置は、必ずデッキ材端部から25mmにしてください。

※ビスがデッキ材端部に近いと、デッキ材の割れなど破損の原因になります。

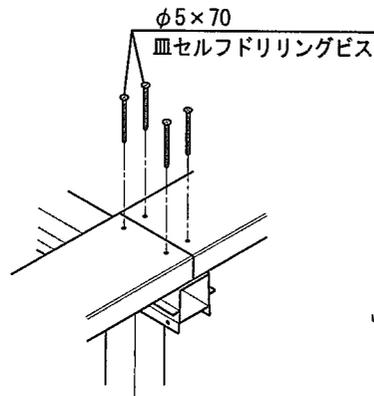
④デッキ材と大引きにφ4mmの下孔をあけてください。

⑤デッキ材表面にφ10mmの皿加工を行ってください。



⑥デッキ材を大引に固定してください。

! デッキ材を固定する際に、電動ドライバー等で締付け過ぎないようにしてください。締付けすぎるとデッキ材が割れる恐れがあります。



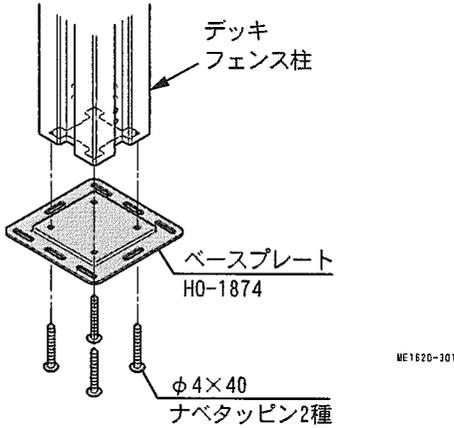
4

デッキフェンスの取付け

●デッキフェンスを取付ける場合に参照してください。

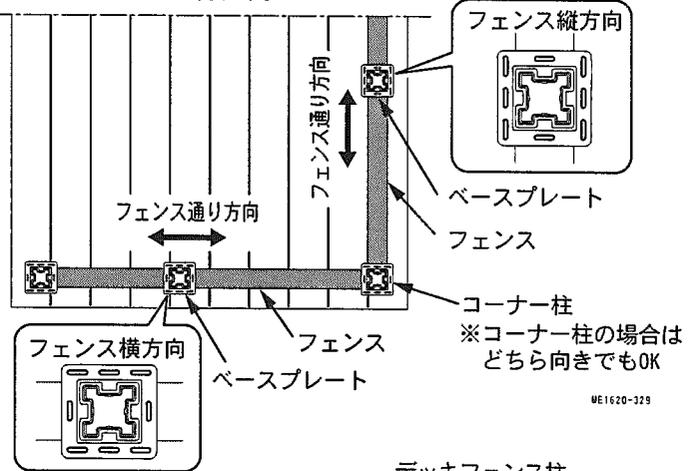
4-1 ベースプレートの取付け

①ベースプレートをデッキフェンス柱に取付けてください。



フェンスの向きに合わせて、ベースプレートの取付方向が変わります。

●ベースプレート取付方向

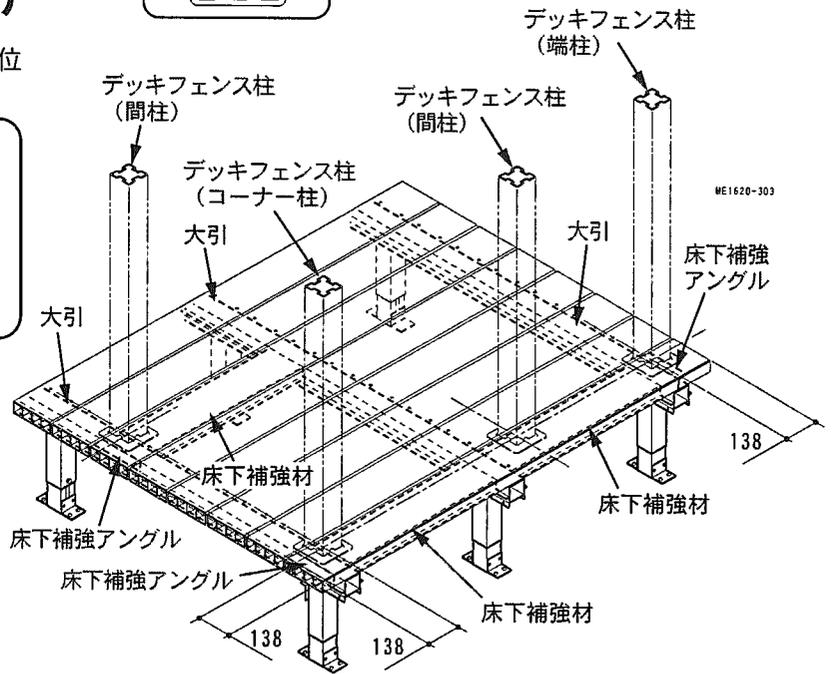
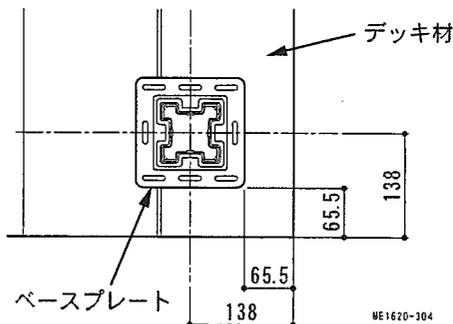


4-2 デッキフェンス柱の取付け

①「納まり図」を参照して、デッキフェンス柱の設置位置を確認してください。



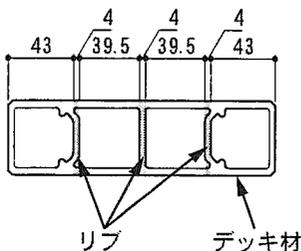
- デッキフェンス柱は、必ずデッキ端部より65.5mm内側に入った位置に取付けてください。
- ベースプレートは、必ず大引または床下補強材（床下補強アングル）の上に取付けてください。



②デッキ材と大引、または、床下補強材（床下補強アングル）にφ5mmの下孔をあけてください。

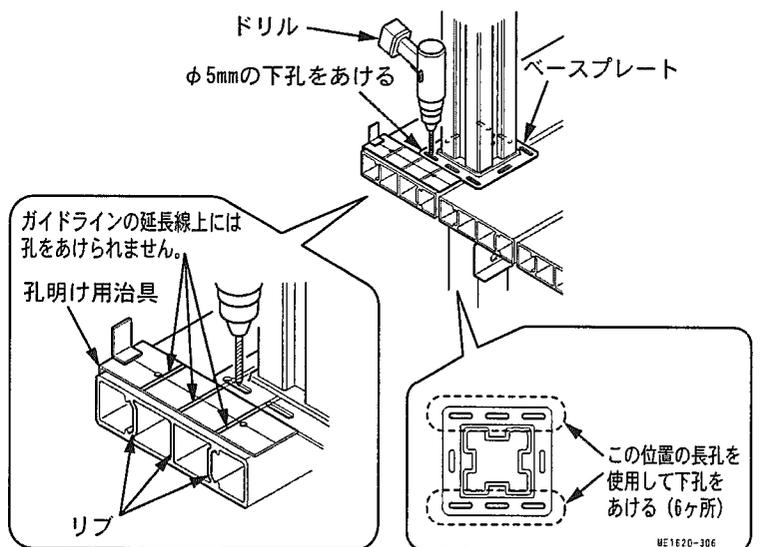


- デッキ材の3本のリブを避けて、ビスを取付けてください。
- 孔明け用治具には、リブ位置を表すガイドラインがあります。ガイドラインの延長線上には、孔をあけないでください。



この部分にはビスを取付けることができません。

WE1620-305





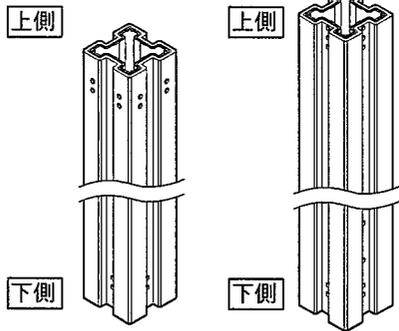
- デッキフェンス柱（樹脂材）には、上下があります。施工時には必ず、デッキフェンス柱（樹脂材）の上下を確認してください。
- デッキフェンス柱（樹脂材）には、3面にあらかじめ取付孔があいています。必ず、デッキフェンスの通り方向および家側に取付孔を配置して取付作業を行ってください。

※下棧の取付前には樹脂材のみ取外すことができます。

● H:1100

● H:1800

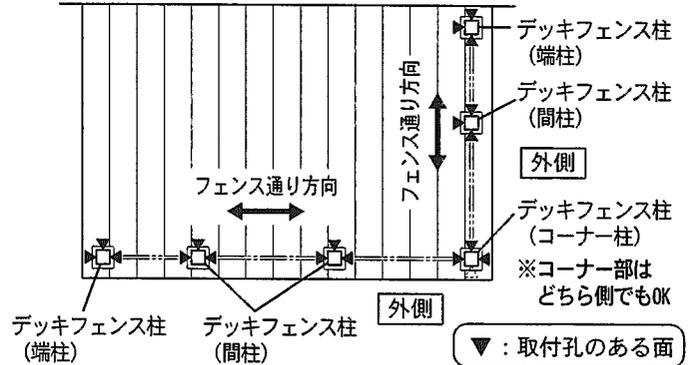
ME1620-422



●取付孔のある面

家側

ME1620-411



③デッキフェンス柱をデッキ材に取付けてください。

4-3 下棧の取付け

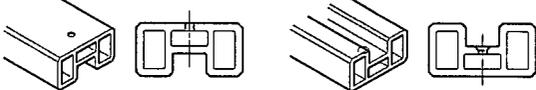
①下棧に上下胴縁取付金具を取付けてください。



H:1800 タイプの場合、下棧と上棧を間違えないようにしてください。

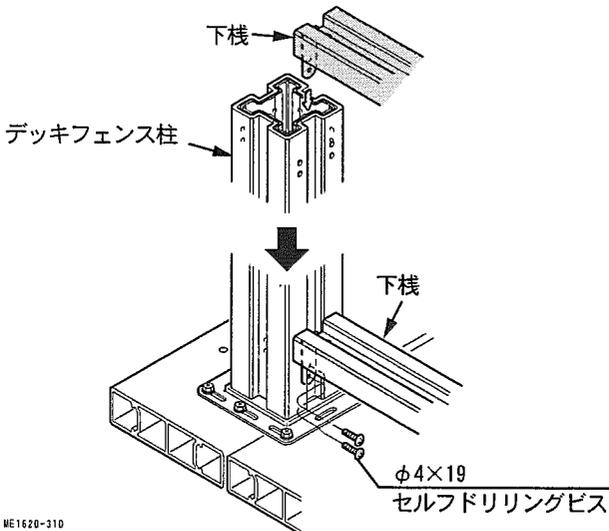
●上棧

●下棧



ME1620-308

②下棧をデッキフェンス柱に取付けてください。

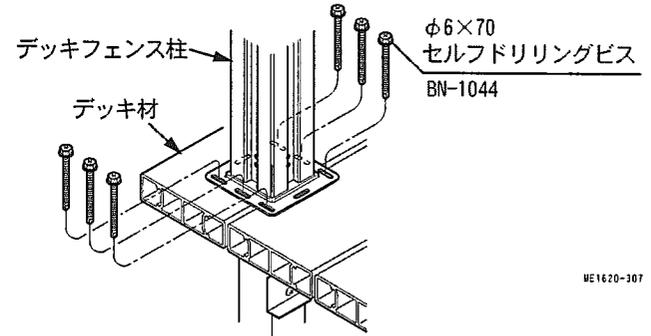


ME1620-310

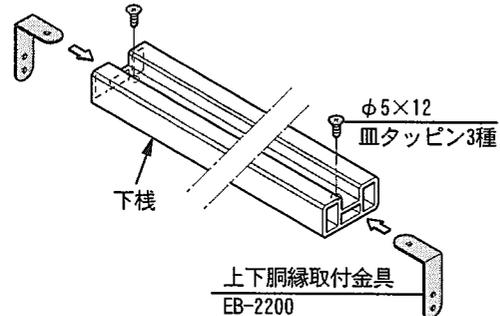


施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、デッキフェンス柱（樹脂材料）の破損の原因になります。



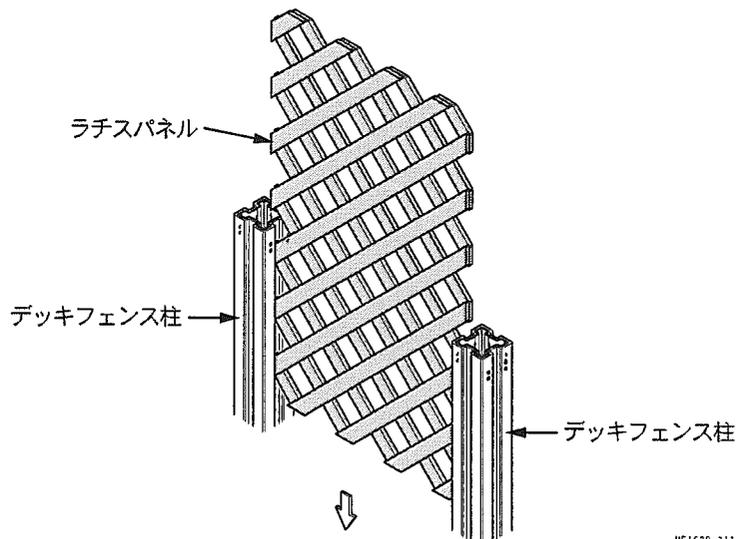
ME1620-307



ME1620-309

4-4 ラチスパネルの取付け

①ラチスパネルをデッキフェンス柱に取付けてください。



ME1620-311

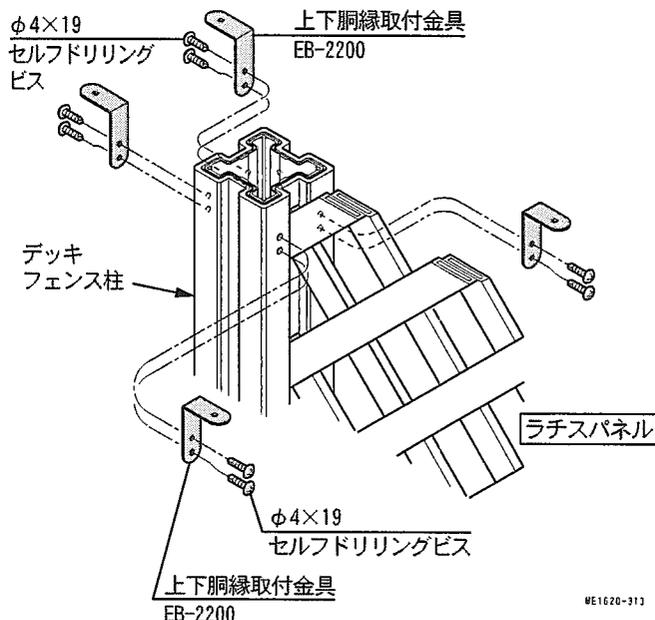
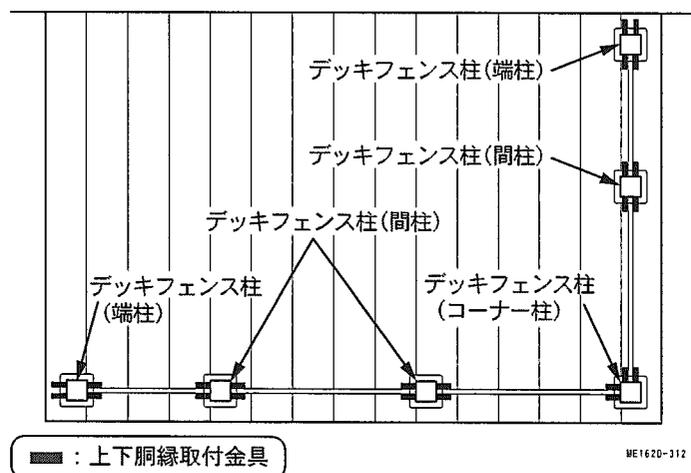
4-5 通し笠木の取付け (H:1100 タイプ)

①上下胴縁取付金具をデッキフェンス柱に取付けてください。

! 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、デッキフェンス柱（樹脂材料）の破損の原因になります。

●金具取付位置



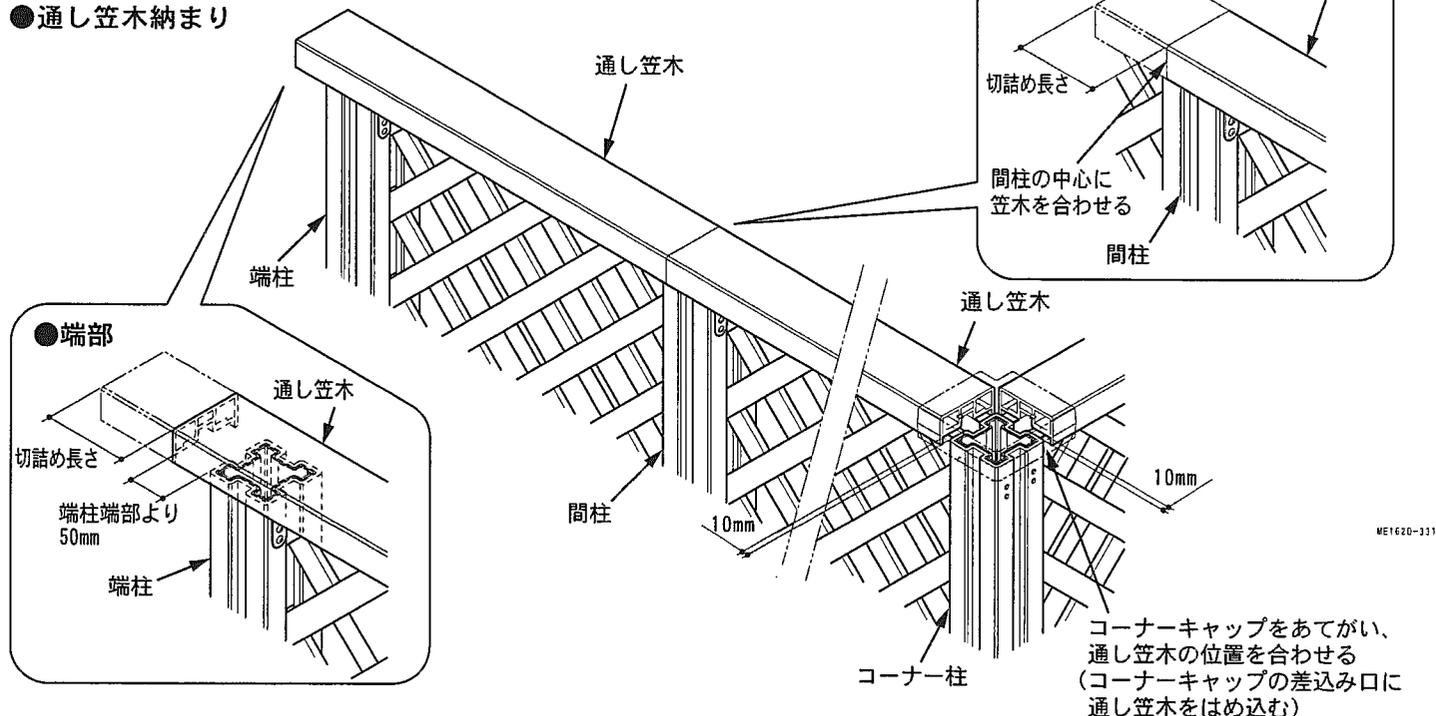
②通し笠木をフェンスに合わせて切詰めてください。

通し笠木切詰め長さ

- コーナー部：通し笠木に90°コーナーキャップをあてがい、現物合わせにて切詰め長さを決めてください。
- 連結部：間柱中心に通し笠木を合わせて、切詰め長さを決めてください。

! 笠木の切詰め前に、柱下部と柱上部で柱ピッチ (910mmまたは634mm) が合っているか確認してください。

●通し笠木納まり

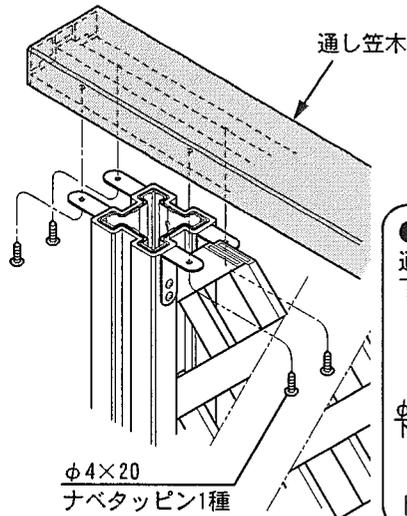


③ 通し笠木をデッキフェンス柱に取付けてください。

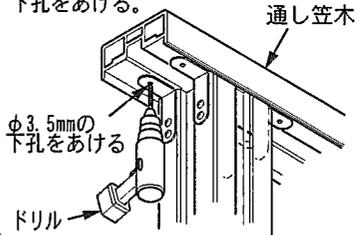
 通し笠木を柱の上に置いて、位置合わせをしてから、φ3.5mmの下孔をあけてください。

 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



● 下から見る
通し笠木を柱の上に置いて、下孔をあける。

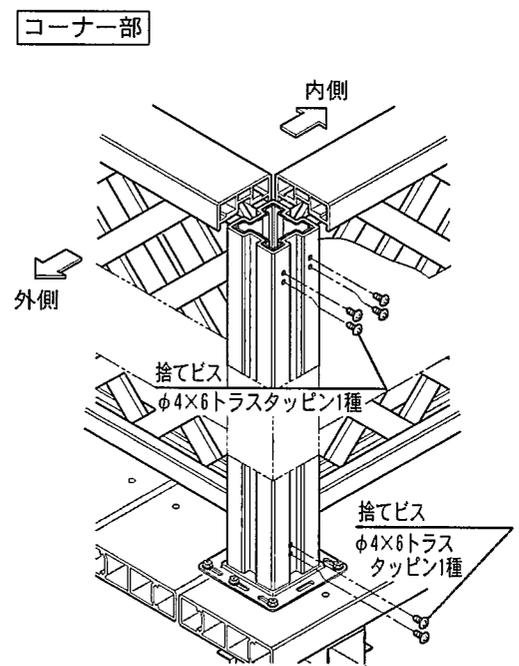
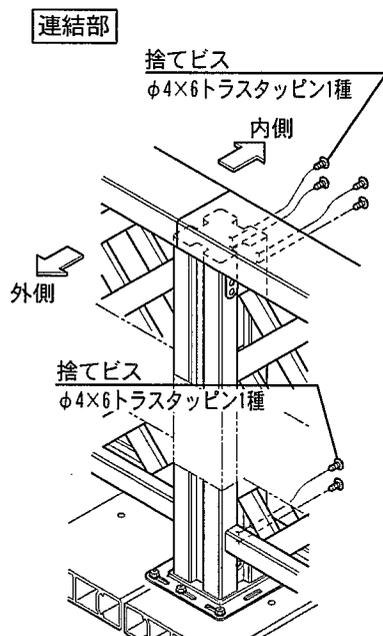
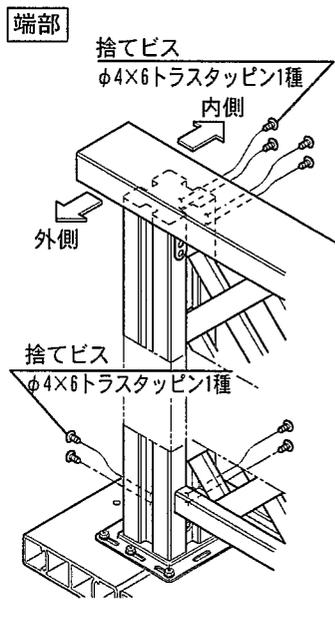


WE1620-315

④ 取付けに使用しない孔に、捨てビスを取付けてください。

 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

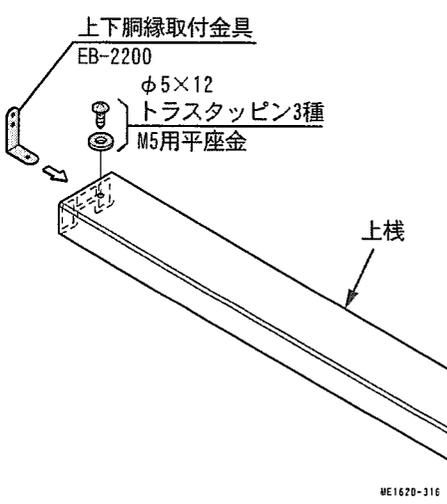
※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



WE1620-322

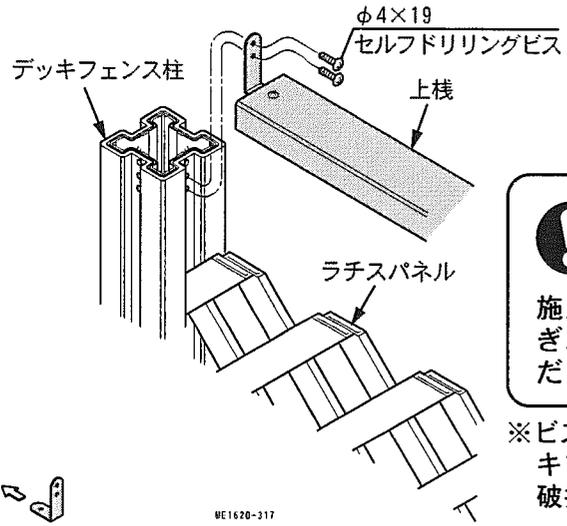
4-6 上棧の取付け (H:1800タイプ)

① 上下胴縁取付金具を上棧に取付けてください。



WE1620-316

② 上棧をデッキフェンス柱に取付けてください。



WE1620-317

 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

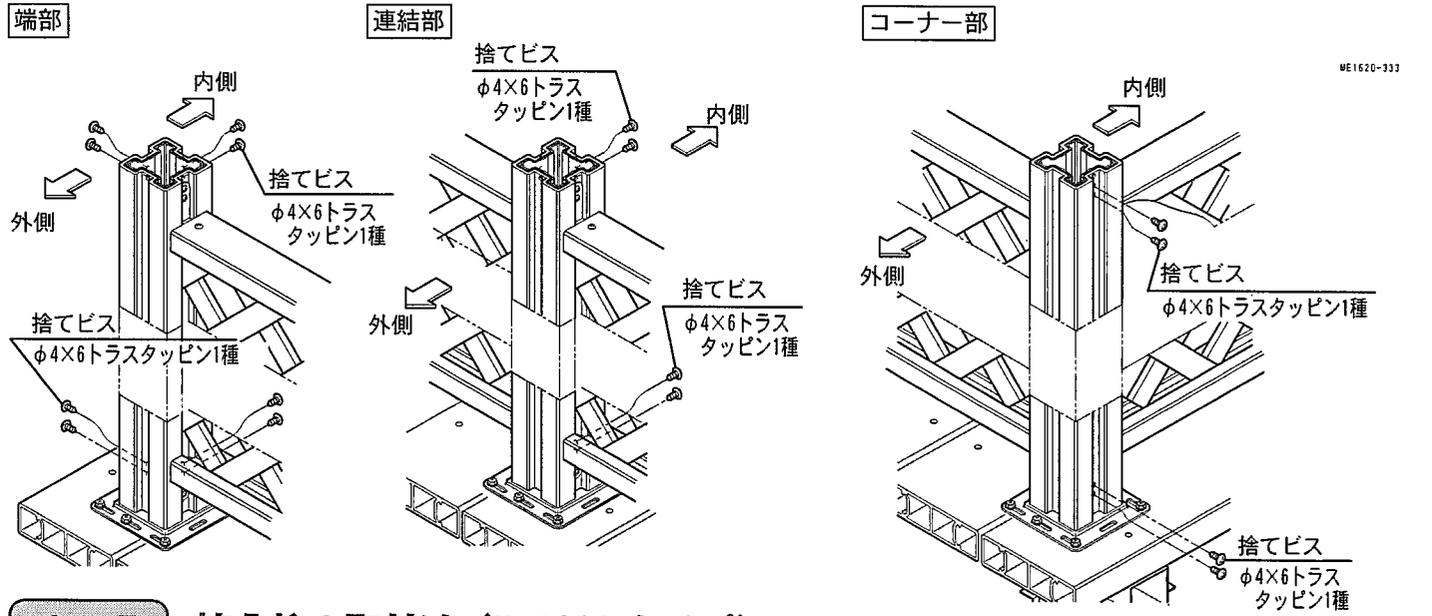
※ビスを締付け過ぎると、デッキフェンス柱（樹脂材料）の破損の原因になります。

デッキフェンスの取付け

③取付けに使用しない孔に、捨てビスを取付けてください。

! 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

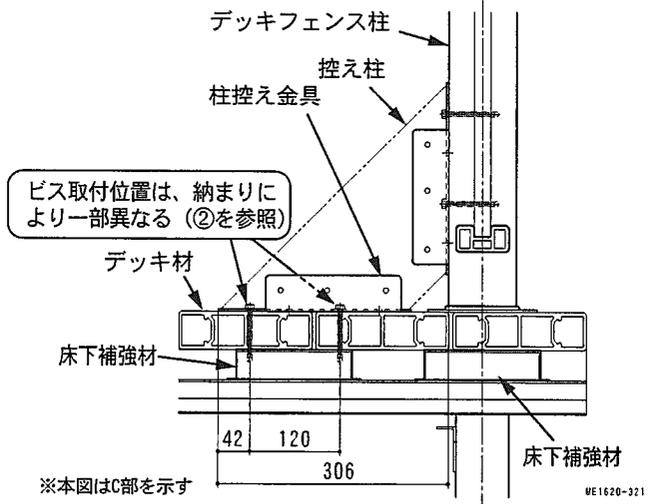
※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



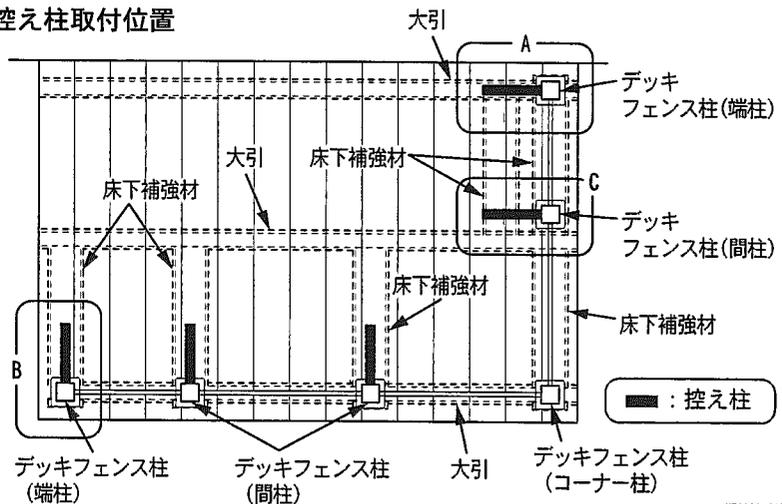
4-7 控え柱の取付け (H:1800タイプ)

! コーナー部以外のデッキフェンス柱に、控え柱を取付けてください。

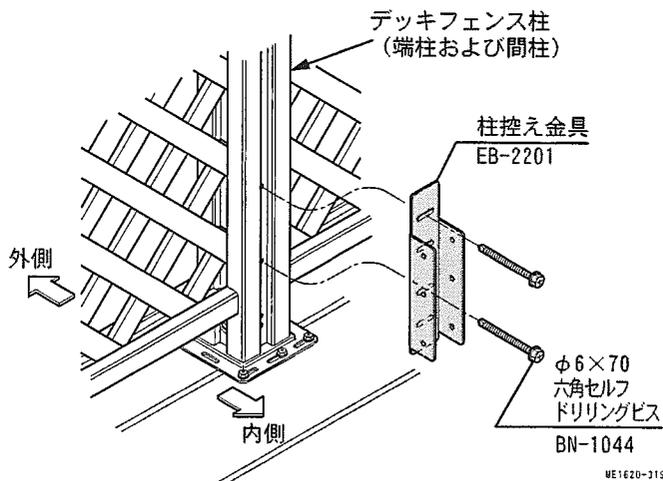
●控え柱詳細図



●控え柱取付位置



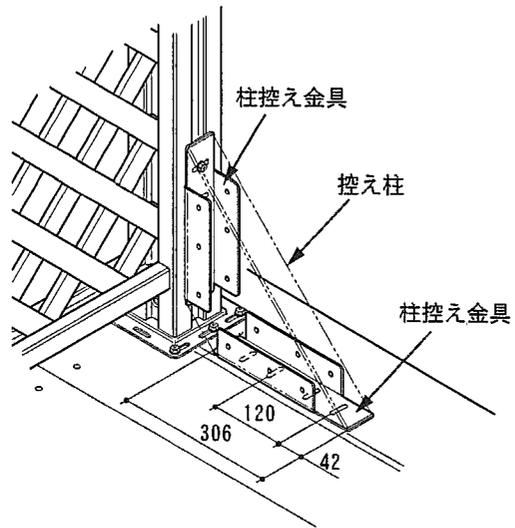
①柱控え金具をデッキフェンス柱に取付けてください。



②現物合わせにて柱控え金具の取付位置を確認してください。

●ビス取付位置は、納まりにより一部異なります。A～C部取付図を参照し、どの長孔を使用するかを確認してください。

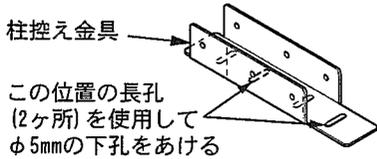
●柱控え金具が大引の上になり、デッキ材取付ビスと干渉する場合は、どの長孔を使用しても構いません。ただし、隣りどうしの長孔は使用しないでください。(A部取付図参照)



WE1620-416

●柱控え金具の使用方法

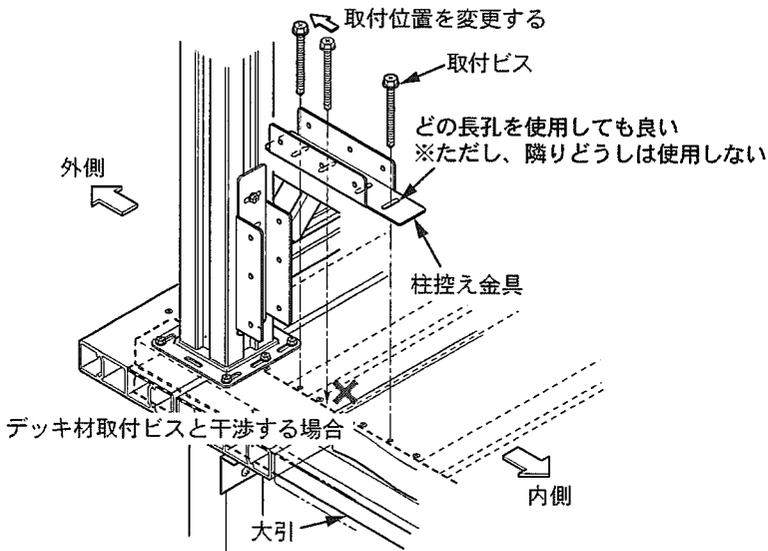
WE1620-415



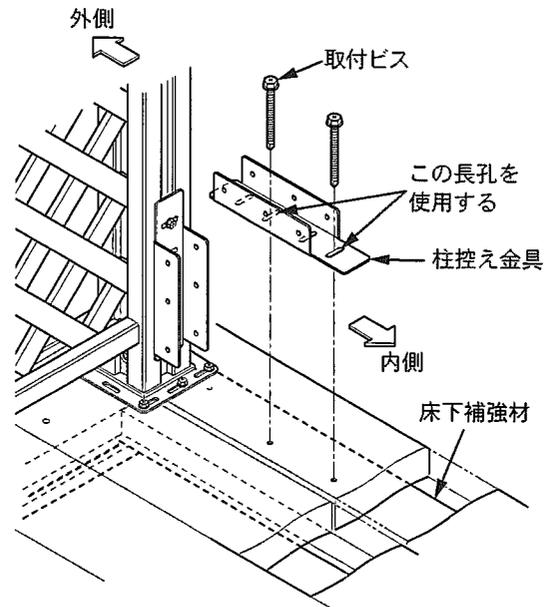
※大引の上 (A部) ではどの長孔を使用しても良いが、隣りどうしは使用しない。

●A部取付図

※柱控え金具が大引の上になり、デッキ材取付ビスと干渉する場合



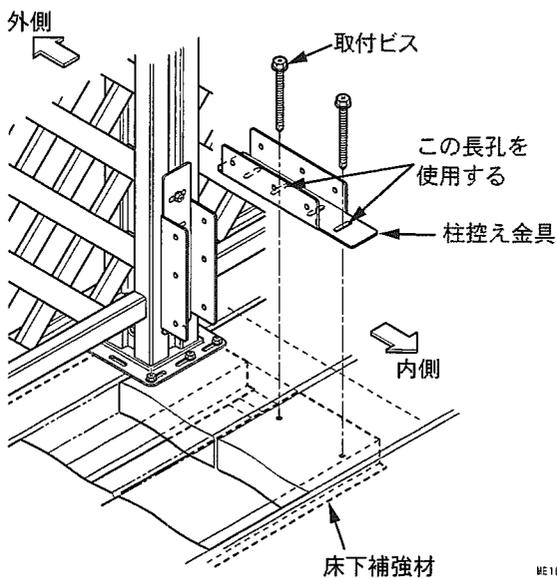
●B部取付図



WE1620-419

●C部取付図

WE1620-418



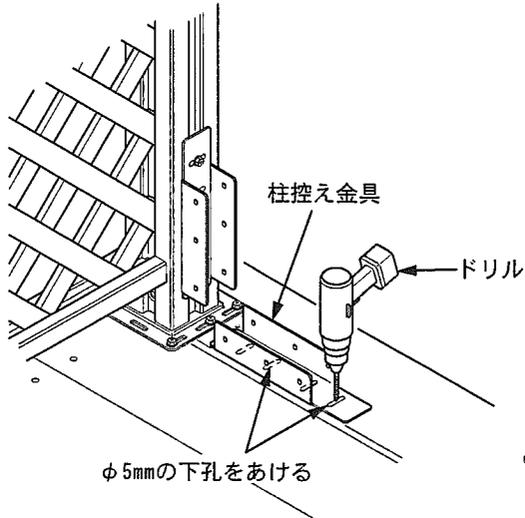
WE1620-420

デッキフェンスの取付け

③ビス取付位置の長孔を使用して、デッキ材と大引、または、床下補強材にφ5mmの下孔をあけてください。

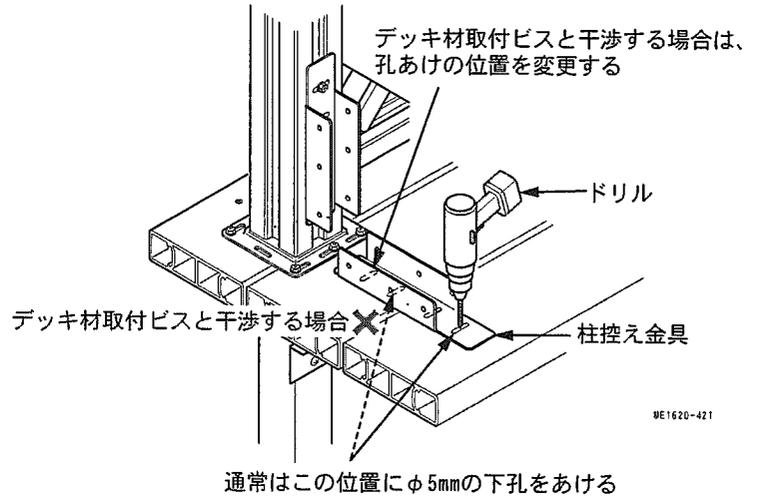


柱控え金具の長孔（2ヶ所）を使用して、現物合わせにてφ5mmの下孔をあけてください。



WE1620-417

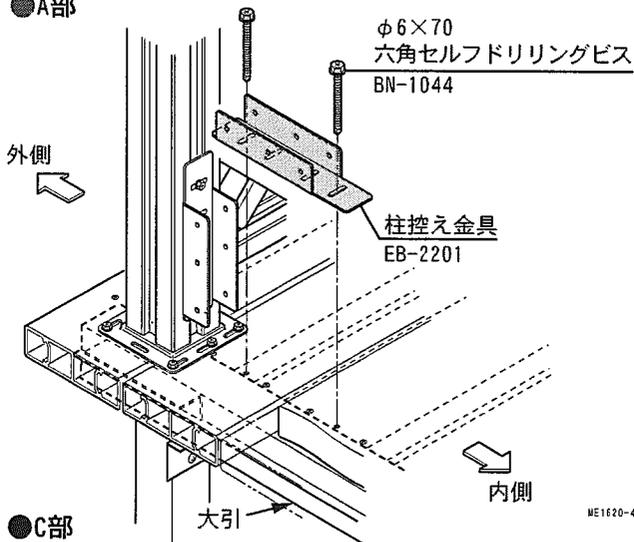
●A部



WE1620-421

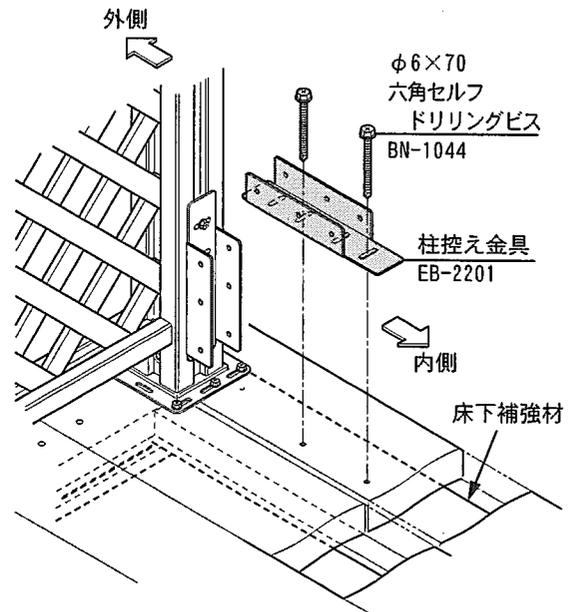
④柱控え金具をデッキ材に取付けてください。

●A部



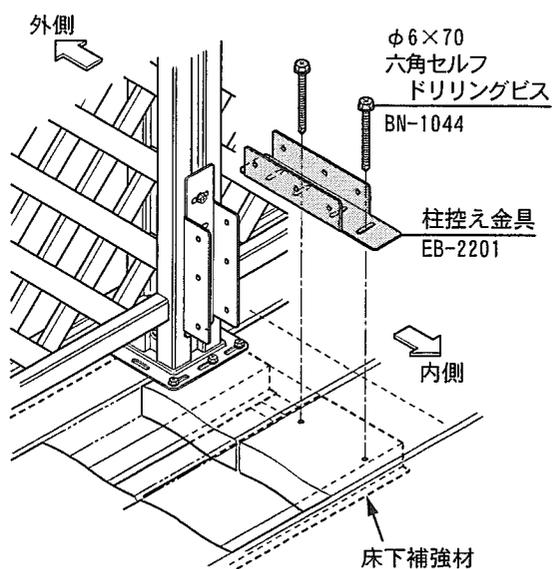
WE1620-412

●B部



WE1620-412

●C部



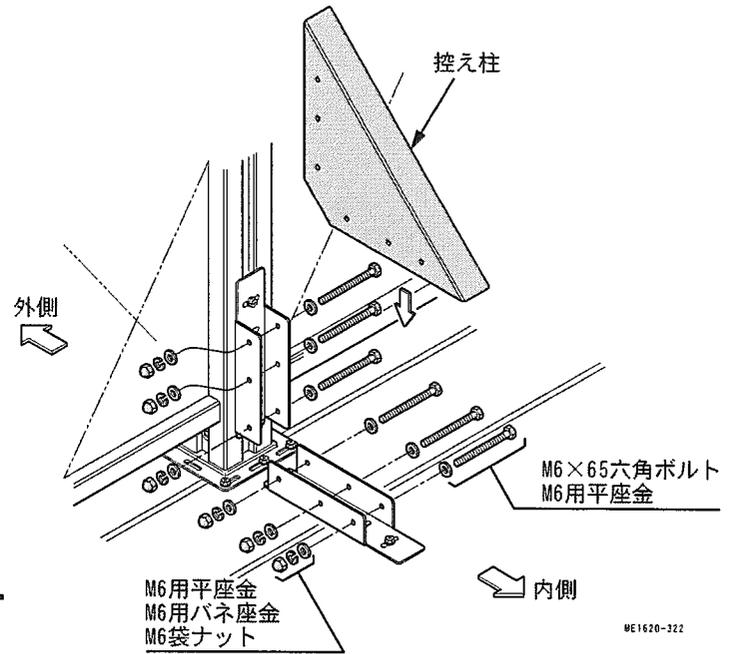
WE1620-320

⑤ 控え柱を柱控え金具に取付けてください。



施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、控え柱（樹脂材料）の破損の原因になります。



ME1620-322

4-8 通し笠木キャップ、笠木カバーの取付け (H:1100 タイプ)

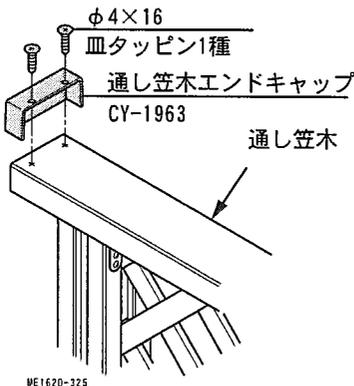
① 笠木の端部・連結部・90° コーナー部に、笠木キャップ・笠木カバーを取付けてください。



施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

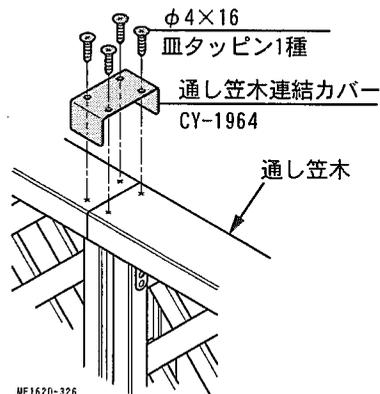
※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

端部



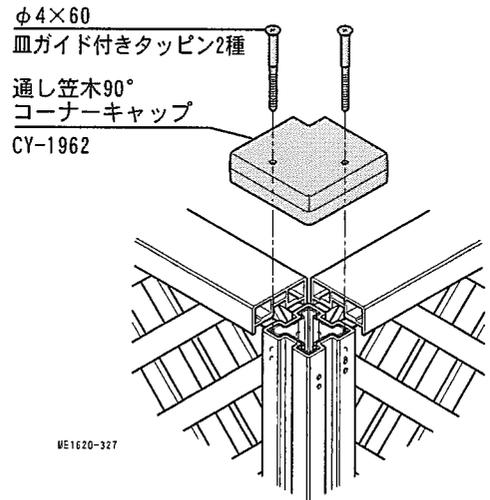
ME1620-325

連結部



ME1620-326

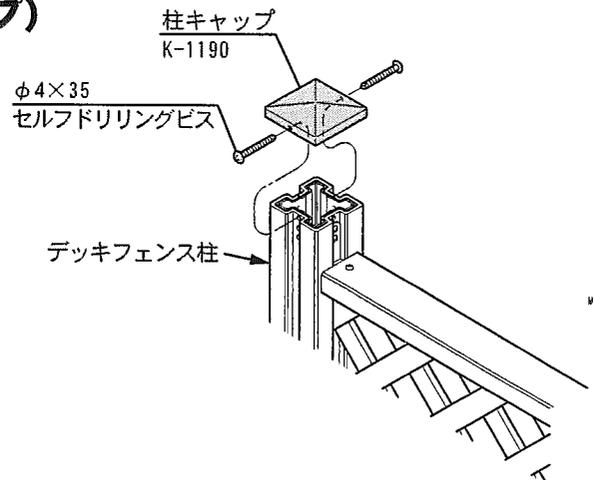
90° コーナー部



ME1620-327

4-9 柱キャップの取付け (H:1800 タイプ)

① 柱キャップをデッキフェンス柱に取付けてください。



ME1620-324

5

鼻隠しの取付け

5-1 鼻隠しの切詰め

①間口方向の鼻隠しの両端を15mm切詰めてください。

5-2 鼻隠しの取付け

①鼻隠しをデッキ材に取付けてください。



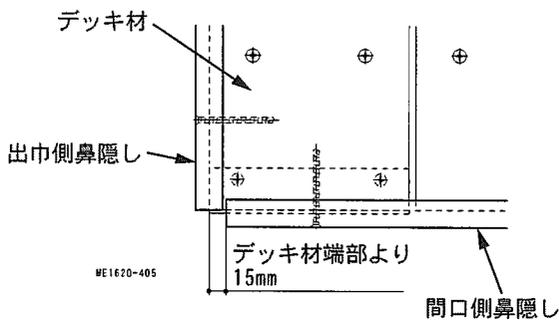
- デッキ材小口面は、鼻隠し取付金具にビス止めをしてください。
- デッキ材側面は、直接デッキ材にビス止めをしてください。



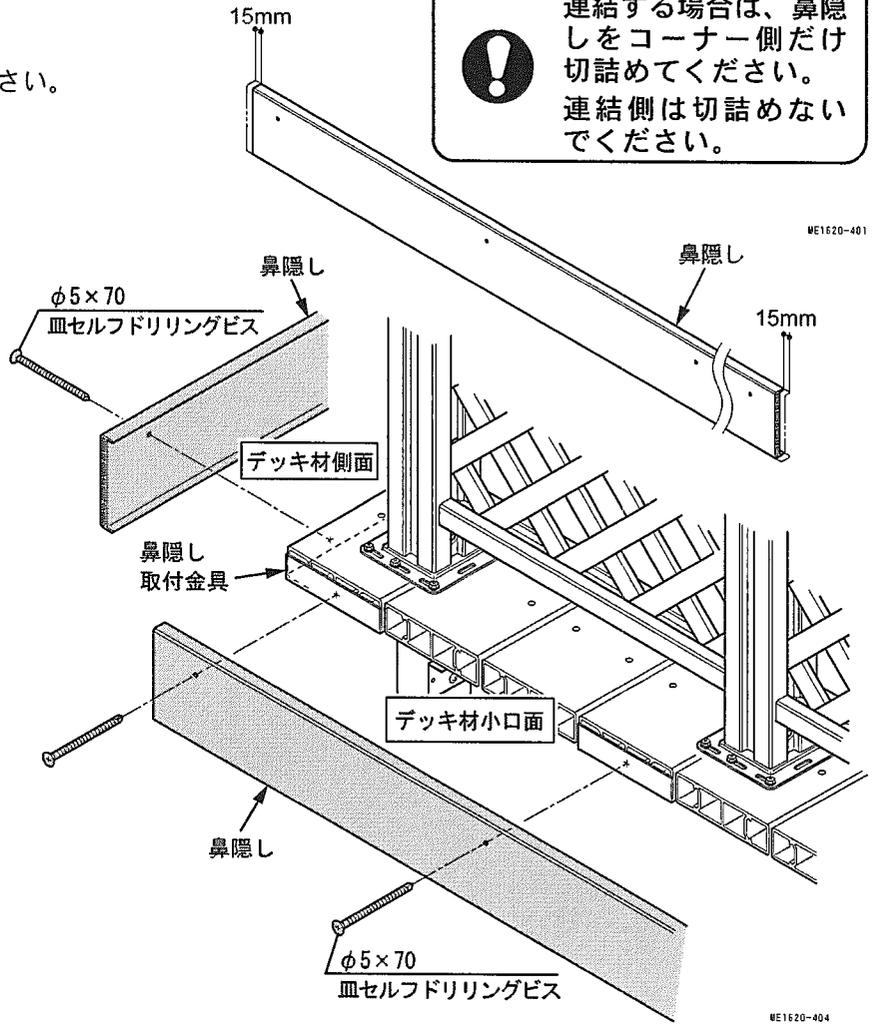
施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

●コーナー部鼻隠しの納まり



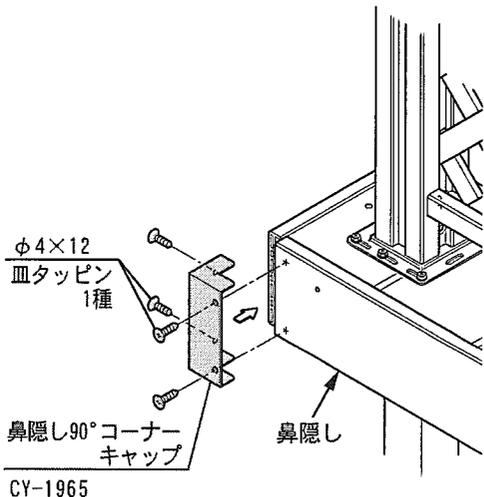
連結する場合は、鼻隠しをコーナー側だけ切詰めてください。連結側は切詰めないでください。



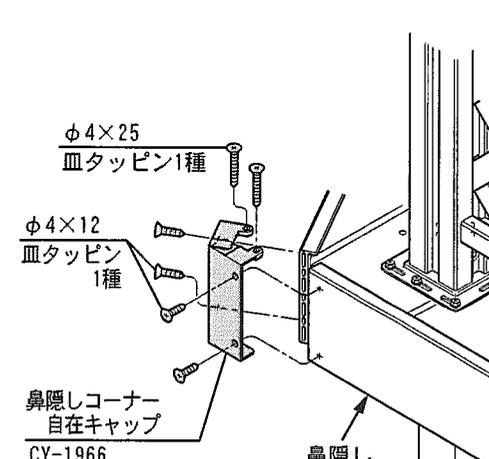
5-3 鼻隠しコーナーキャップ・連結カバーの取付け

- ①鼻隠し90° コーナーキャップ、または鼻隠しコーナー自在キャップをデッキコーナー部に、取付けてください。
- ②鼻隠し連結カバーを、鼻隠しの連結部に取付けてください。

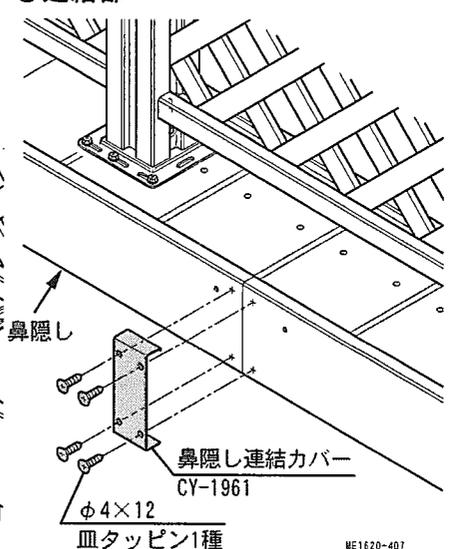
●90° コーナー部



●自在コーナー部 (対応範囲: 90° <math>< \theta </math> <math>< 180^\circ</math>)



●連結部



施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

6

点検口の施工

- 点検口を設置する場合に参照してください。
- あらかじめ点検口を設置する部分のデッキ材を切断しておいてください。

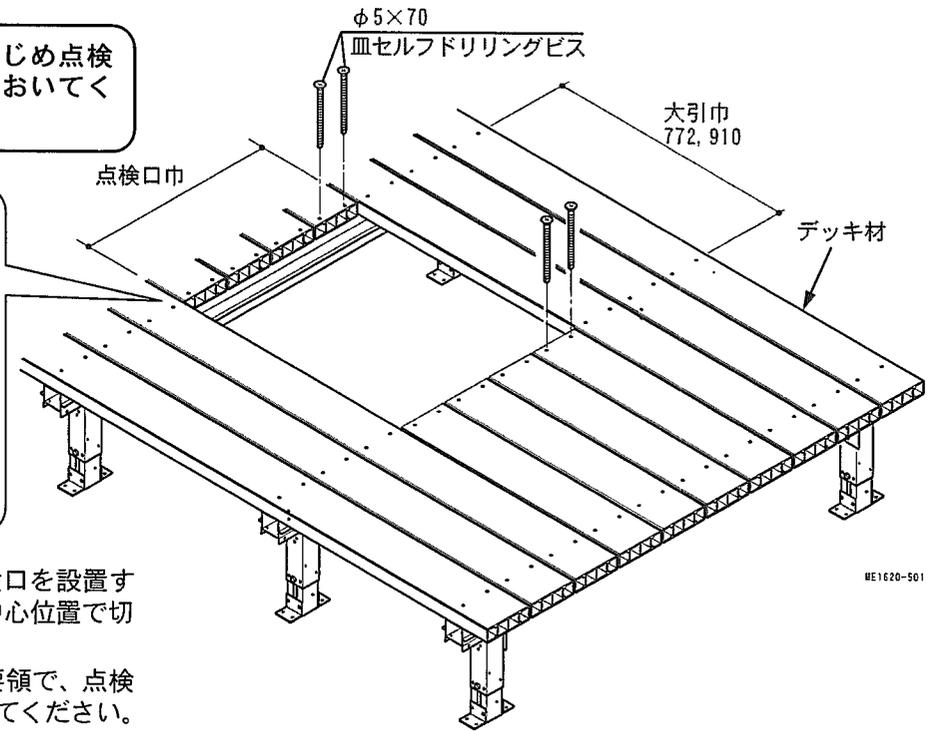
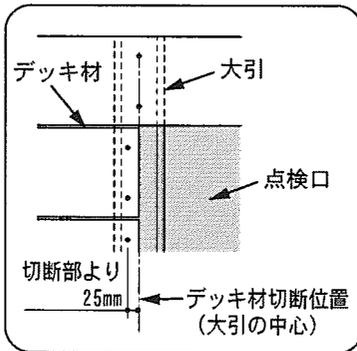


点検口は大引と大引の間に施工してください。

6-1 デッキ材の加工 (点検口部分)



デッキ材を敷く前に、あらかじめ点検口位置のデッキ材を切断しておいてください。



ME1620-501

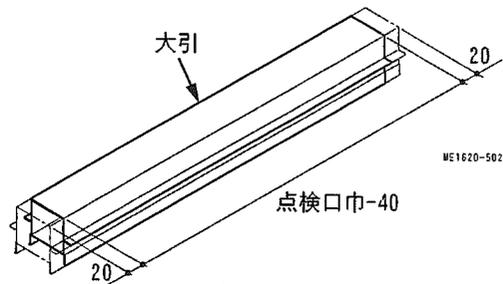
- ①9ページの「納まり図」を参照して、点検口を設置する部分のデッキ材を、あらかじめ大引の中心位置で切断しておいてください。
- ②22ページの「3. デッキ材の取付け」の要領で、点検口以外の部分のデッキ材を、大引に取付けてください。



- この場合は、「3-3. デッキ材の連結」と同様の納まりになります。
- 25ページの「3-3. デッキ材の連結」を参照し、デッキ材連結部品をデッキ材端部に取付けてください。

6-2 点検口蓋の作成

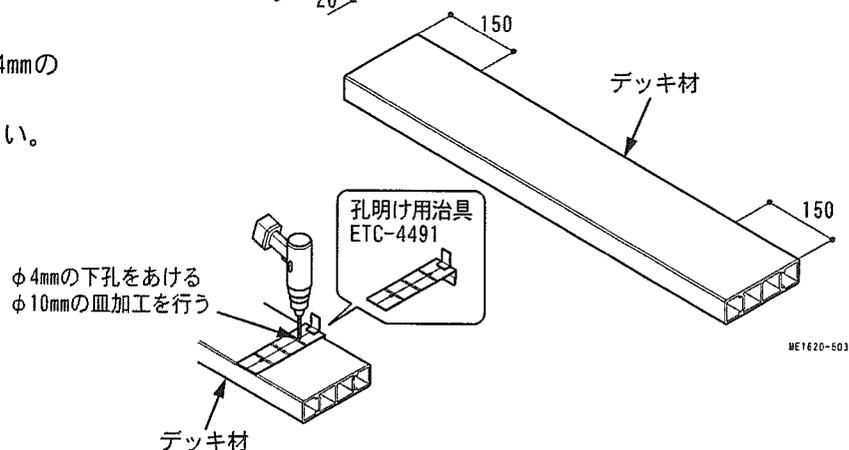
①大引を点検口巾より40mm短く切詰めてください。



ME1620-502

②孔明け用治具を使用して、デッキ材と大引にφ4mmの下孔をあけてください。

③デッキ材表面にφ10mmの皿加工を行ってください。



ME1620-503

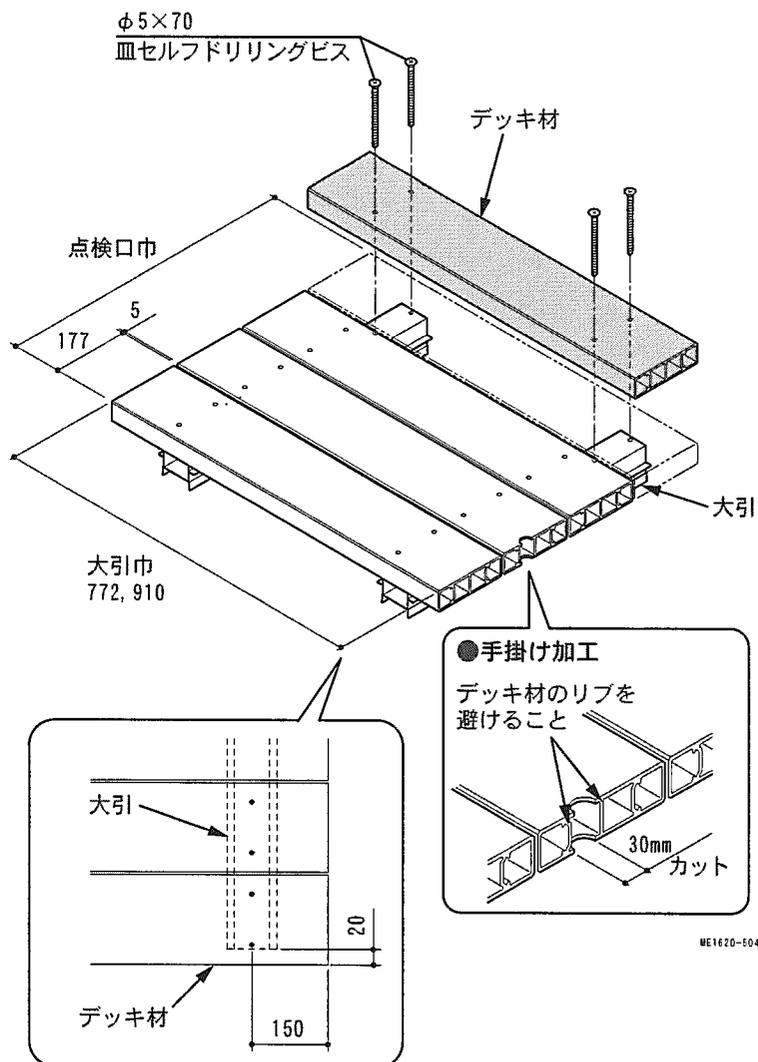
点検口の施工

④大引に、デッキ材を取付けてください。



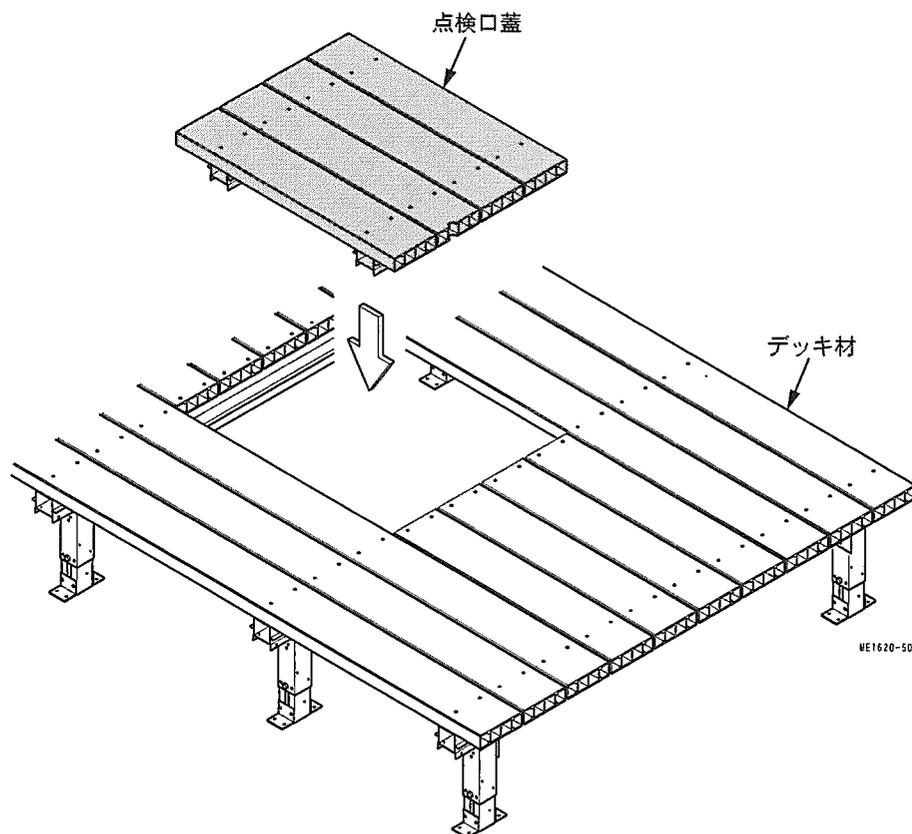
デッキ材を固定する際に、電動ドライバー等で締付け過ぎないようにしてください。締付けすぎるとデッキ材が割れる恐れがあります。

⑤デッキ材の端部に手掛け加工を行ってください。



ME1620-504

⑥点検口蓋をデッキ材に設置してください。



ME1620-505

7

ステップの施工

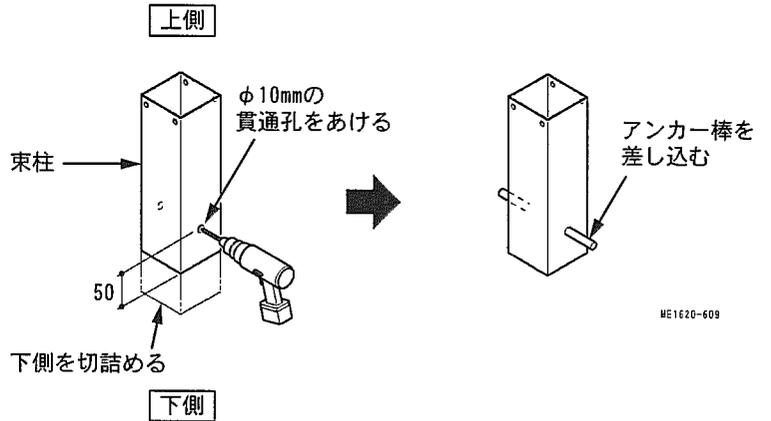
●ステップを設置する場合に参照してください。

7-1 束柱の切詰め

- ①デッキ本体の高さに応じて、ステップの高さを決めてください。
- ②束柱の下側を必要な長さに切詰めてください。
- ③束柱にφ10mmの貫通孔をあけ、アンカー棒を差し込んでください。

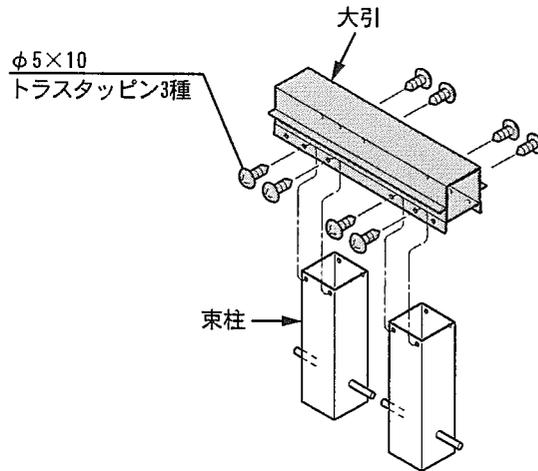


- 束柱は、必ず下側から切詰めてください。
- 束柱の上側には、あらかじめバーリング加工がしてあります。上側を切詰めないように注意してください。



7-2 大引の取付け

- ①大引に2本の束柱を取付けてください。



7-3 束柱の埋め込み

- ①9ページの「納まり図」を参照して、束柱をGL面に埋め込んでください。

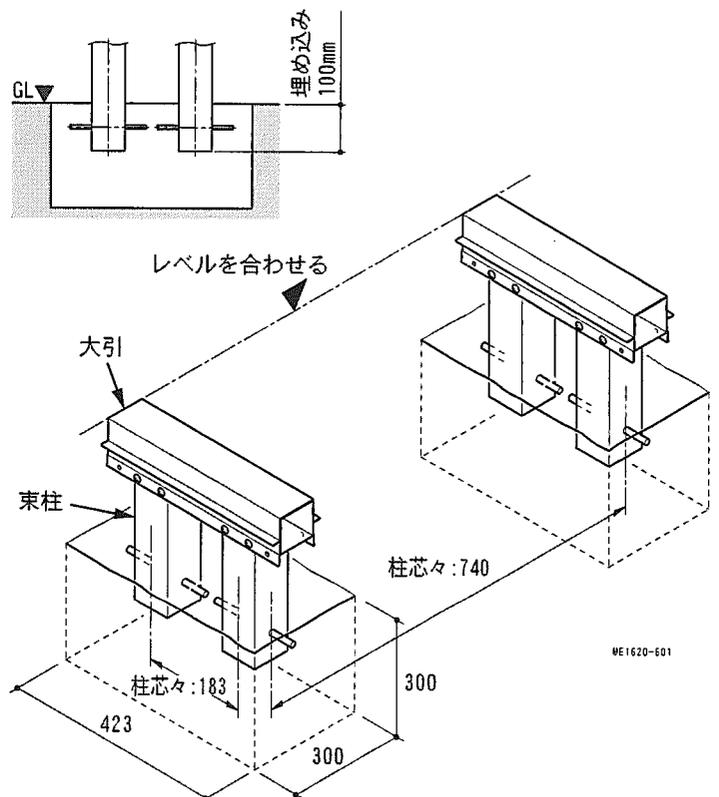


地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。



- 柱は100mm以上埋め込み、基礎寸法は300mm以上としてください。
- 柱の高さ、位置レベルを正確に合わせてください。

※レベルが合っていないと、ステップの取付け不良の原因となります。



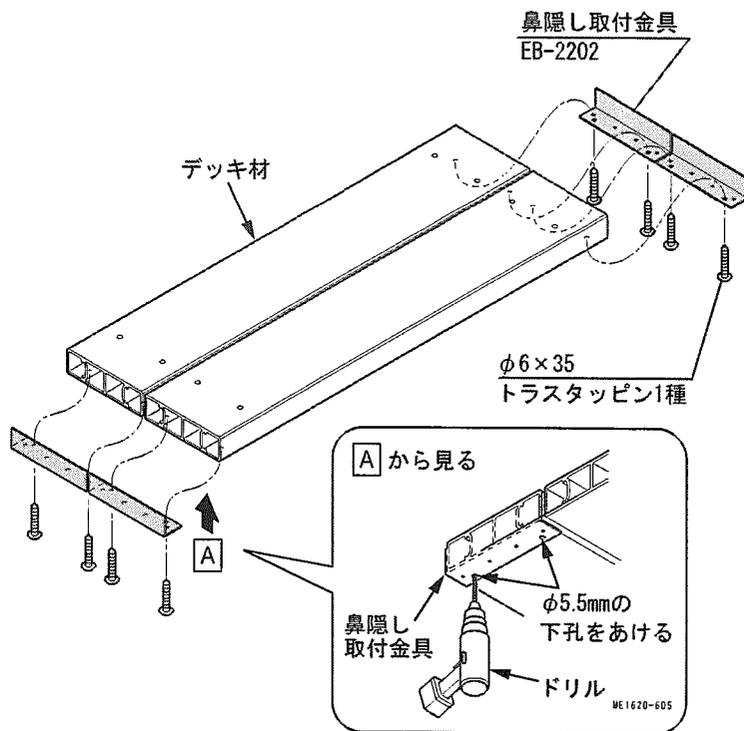
7-4 鼻隠し取付金具の取付け

①2枚のデッキ材裏側の両端部に、鼻隠し取付金具を取付けてください。



施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

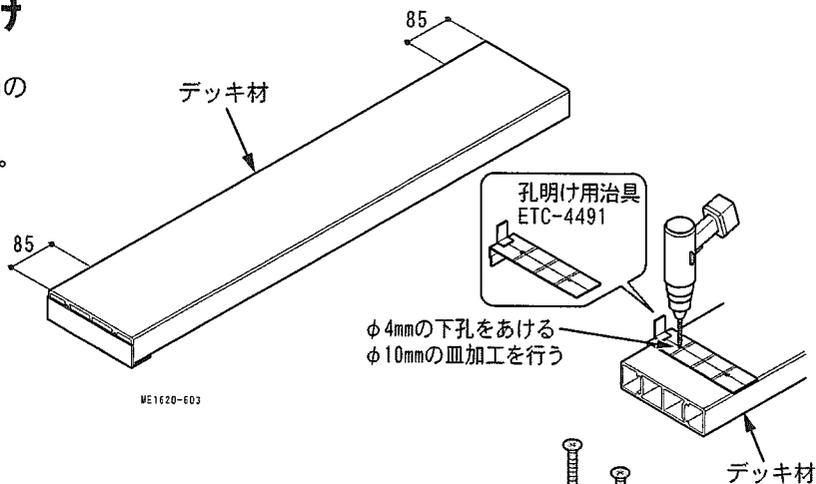
※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



7-5 段板 (デッキ材) の取付け

①孔明け用治具を使用して、デッキ材と大引にφ4mmの下孔をあけてください。

②デッキ材表面にφ10mmの皿加工を行ってください。



③23ページの「3-2. デッキ材の取付け」の要領で、2本のデッキ材を大引に取り付けてください。

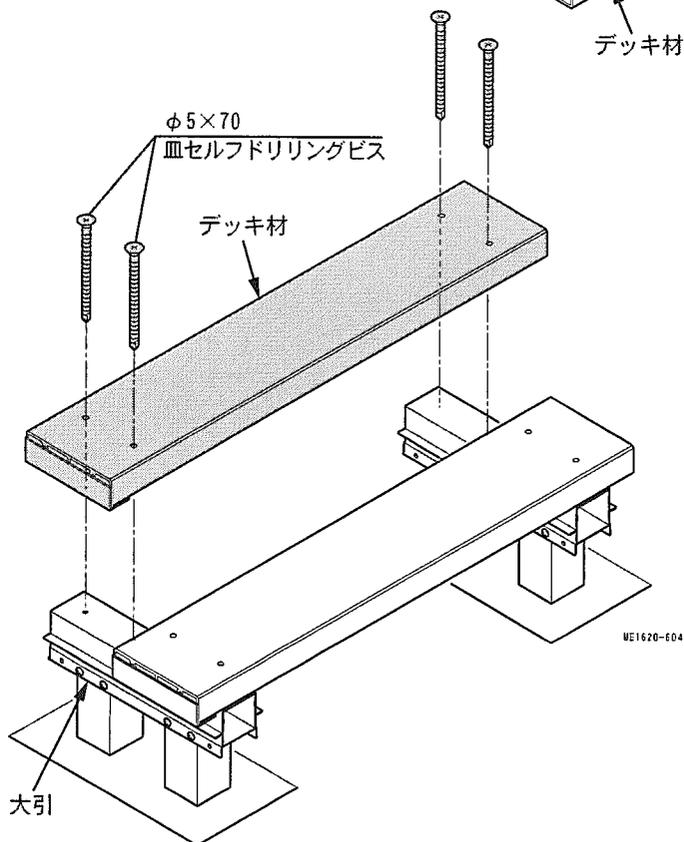


デッキ材を固定する際に、電動ドライバー等で締付け過ぎないようにしてください。締付けすぎるとデッキ材が割れる恐れがあります。



- 皿ビスの頭が必ずデッキ面以下となるようにしてください。
- ビス部分に樹脂のささくれ等が発生した場合は、必ずヤスリで仕上げてください。

※デッキ面が仕上がっていないと、ケガの原因になります。



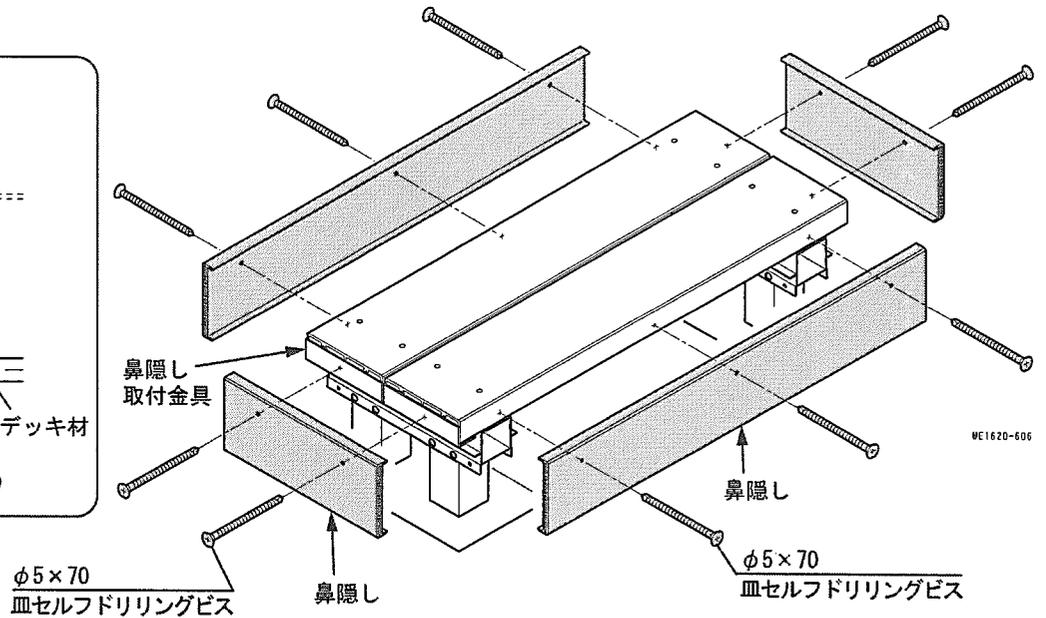
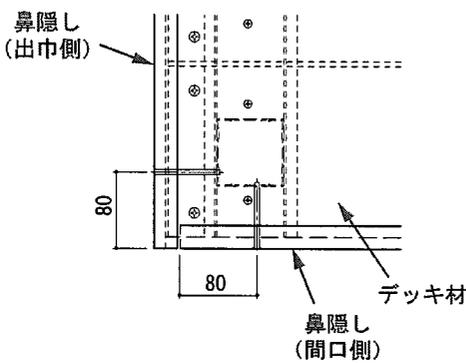
7-6 鼻隠しの取付け

①鼻隠しをデッキ材に取付けてください。

! 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。

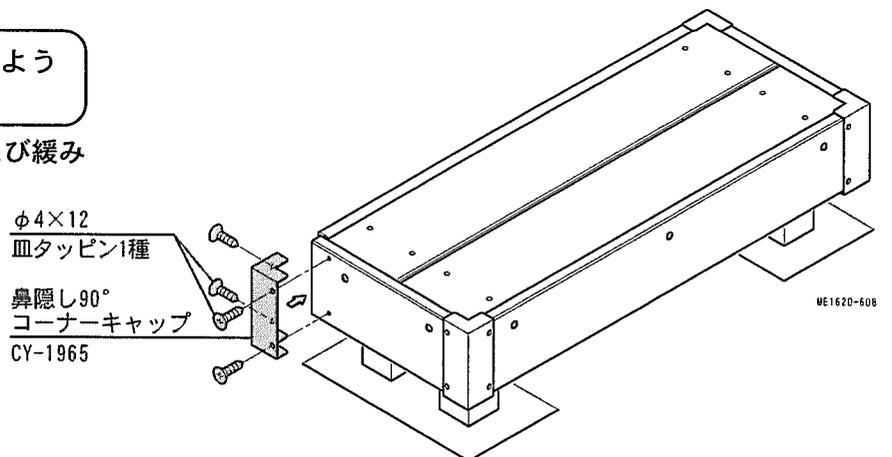
●鼻隠し端部 取付詳細図



②デッキコーナー部に、鼻隠し90° コーナーキャップを取付けてください。

! 施工時にビスを締付け過ぎないように注意してください。

※ビスを締付け過ぎると、取付孔の破損および緩みの原因になります。



! 施工完了後、全体を前後左右、及び上端より荷重をかけ、ぐらつきがないことを確認してください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

—お願い—

- 「お施主様用手引き」に基づき(同梱されているもののみ)商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- このマニュアルは、施工完了後施主様にお渡しください。

| | |
|-------------------|---|
| 施 工 完 了 日 | 年 月 日 |
| 施 工 工 事 店 | TEL () - |
| 販 売 店 | TEL () - |
| 商 品 名 | |
| そ の 他 | |